SAMSUNG TECHWIN

ネットワークカメラ
ユーザーマニュアル

SND-7080/SND-7080F



CE

SAMSUNG

ネットワークカメラ
ユーザーマニュアル

Copyright

©2011 Samsung Techwin Co., Ltd. All rights reserved.

商標について

SAMSUNG TECHWIN は Samsung Techwin Co., Ltd. の商標登録されたロゴです。
この製品の名称は Samsung Techwin Co., Ltd. の登録商標です。
このマニュアルに記載のその他の商標はそれぞれの会社の登録商標です。

制約について

このマニュアルの著作権は Samsung Techwin Co., Ltd. にあります。 このマニュアルの内容の部分的または全体的を問わず、いかなる状況においても、Samsung Techwin の正式な許可なく複製、配布または変更することはできません。

免責事項について

Samsung Techwin はマニュアルの完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。 このマニュアルの使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。
Samsung Techwin は事前の通知なしにこのマニュアルの内容を変更する権利を留保します。

保証について

製品が通常の状態で適切に動作しない場合は、お問い合わせください。
Samsung Techwinは無料で問題を解決いたします。 保証期間は3年です。 ただし、次の場合は除きます。

- システム操作に無関係なプログラムを実行したためシステムが異常な動きをする場合
- パフォーマンスの低下または時間の経過による自然な老朽化

❖ **設計および仕様は予告なく変更する場合があります。**

❖ **デフォルトのパスワードは、ハッキングスレッドにさらされる恐れがあるため、製品インストール後に変更することをお勧めします。**
パスワードを変更しなかったことにより、セキュリティ関連の問題が起こった場合は、ユーザーの責任となります。

概要

重要な安全ガイド

1. 本書の説明をよく読んで下さい。
2. 本書の指示を守ってください。
3. 全ての警告を留意してください。
4. 全ての指示に従って下さい。
5. 本機を水の傍で使用しないで下さい。
6. お手入れは乾いた布のみを使用して行って下さい。
7. どの換気孔も塞がないようにして下さい。メーカーの指示に従って取り付けて下さい。
8. ラジエーター、熱レジスタ、あるいは熱を発するその他の装置（アンプを含む）などの熱源の傍に設置しないで下さい。
9. 分極タイプあるいは接地タイプのプラグの安全目的を必ず守ってください。 分極プラグには一方が他方より幅広い2本の足が付います。 接地プラグには2本の足とアース（接地）差込み先が付いています。2本の平たい足あるいは3本めの差込み先はユーザーの安全のために付いています。提供されたプラグがお使いのコンセントに合わない場合には、旧式のコンセントの交換について電気技師にご相談下さい。
10. 特にプラグ、ソケット、機器との接点でコードが踏まれたり引っ張られたりしないよう電源コードを保護してください。
11. メーカーが指定する付属品のみを使用してください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケットはメーカー指定のもの、あるいは製品と一緒に販売されたもののみを使用してください。 カート使用する場合、カートと製品を動かす際には転倒による損傷に注意してください。



13. 雷雨のときまたは長期間使用しないは場合は、製品の電源プラグを抜いてください。
14. 全ての修理は資格のあるサービス・スタッフに任せて下さい。
修理は電源コードあるいはプラグの損傷、液体をこぼした、または物体を機器内に落としてしまった、機器を雨や湿度にさらしてしまった、正常に機能しない、あるいは機能の低下など、様々な原因で機器が損傷した場合に必要となります。

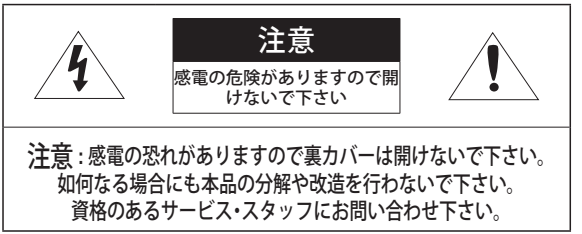
概要

警告

火災または感電防止のため、この装置を雨または湿気にさらさないでください。本製品の換気グリルまたはその他の開口部から金属製物質を差し込まないでください。

製品に液体をこぼしたりかけたりせず、また花瓶のように液体が入った物体を製品の上に載せたりしないでください。

注意



グラフィック記号の説明



正三角形内の稲妻型の矢印は、本製品の筐体に人が感電する恐れのある"高圧電流"が存在することを、ユーザーに警告するものです。



正三角形内の感嘆符は、製品の操作およびメンテナンス（修理）に関する重要な付属説明書があることをユーザーに知らせるこものです。

クラスI構造

クラスI構造を持つ装置は保護接地接続のある本線ソケットに接続してください。

バッテリー

電源(バッテリーパックまたは取り付けた状態のバッテリー)は直射日光の当る場所や、熱器具の近くには置かないでください。

デバイスの切断

問題がある場合は、装置からメインプラグを抜きます。次にお住まいの地域の修理会社に電話してください。

米国外では、認証機関が採用している取付け金具用のHARコードが使用される場合があります。

注意

これらの保守説明書は、資格のあるサービススタッフのみが使用するものです。感電の危険性を低減するために、資格がある場合を除き操作説明書に含まれていない修理は行わないでください。

製品にはBNC出力端子が用意されており、これを使用するとより簡単にインストールできますが、モニター用にはお勧めしません。
BNCケーブルを接続したままにしていると、落雷の際に製品の破損または誤動作を引き起こす可能性があります。

概要

次に示す安全のための推奨注意事項を熟読してください。

- 本製品は平らな場所に置いてください。
- 直射日光の当たる場所、暖房設備または低温区域の近くには取付けないでください。
- 本製品を導電性の高い物体の近くに置かないでください。
- 本製品は自分で修理しないでください。
- 本製品の上に水の入ったコップを置かないでくだ
- 磁気源のそばに取付けないでください。
- 換気口は塞がないようにしてください。
- 本製品の上に重いものを置かないでください。

ユーザーマニュアルは、本製品の使用方法に関するガイドブックです。

このマニュアルで使用する用語の意味を次に示します。

- 参照: 製品の使用方法についてのヘルプ情報を示す場合。
- 注意: 指示に従わないことで、ものや人に損害が発生する可能性がある場合。

※ 製品を使用する前に安全のためこのマニュアルを読み、大切に保管しておいてください。

目次

概要 3

3 重要な安全ガイド
9 製品の特徴
9 お奨めする PC 仕様
10 お奨めする SD/SDHC メモリカード 仕様
10 キット内容
11 概観 (SND-7080)
14 概観 (SND-7080F)

取付けおよび接続 17

17 取付け (SND-7080)
19 取付け (SND-7080F)
21 SDメモリカードの挿入/取出し
22 メモリカード情報 (別売)
23 他のデバイスとの接続

ネットワーク接続と設定 27

27 カメラを直接ローカルネットワークに接続する
28 カメラを直接DHCPベースのDSL/ケーブルモデムに接続する
29 PPPoEモデムへのカメラの直接接続
30 PPPoE/ケーブルモデムでカメラとブロードバンドルーターを接続する
31 IPインストーラに使用するボタン
32 静的IPの設定
36 動的IP設定
37 ートフォワード（ポートマッピング)の設定
39 共有ローカルPCからカメラへの接続
39 リモートPCからインターネット経由でのカメラへの接続

概要

WEB VIEWER 40

40 カメラへの接続
41 ログイン
42 ActiveXのインストール
43 Silverlight Runtimeのインストール
45 ライブ画面の使用方法
48 再生

設定画面 50

50 設定
50 音声と映像の設定
60 ネットワーク設定
67 イベント設定
79 システム設定

付録 84

84 仕様
89 製品ビュー
91 トラブルシューティング
93 Open Source Announcement
95 GPL/LGPL Software License

製品の特徴

- **フルHDビデオ品質**
- **マルチストリーミング**
  このネットワークカメラは、複数のCODECを使用して解像度と画質が異なる映像を同時に表示することができます。
- **Webブラウザベースの監視**
  ローカルネットワーク環境で、インターネットWebブラウザを使用して画像を表示します。
- **アラーム**
  イベントが発生すると、イベント関連映像がユーザー指定の電子メールに転送されるか、SDメモリに保存されます。または、イベント信号がアラーム出力ポートに送信されます。
- **ビデオモーション検知**
  イベントをトリガーする前にビデオからモーションを検知します。
- **顔検出/スマートコーデック**
  カメラの入力ビデオから顔を認識するか、指定した領域のより鮮明な画像を転送します。
- **切断したネットワークの自動検出**
  イベントをトリガーする前にネットワーク切断を検知します。
- **ONVIF（Spec 1.02）に準拠**
  本製品はONVIF Core Spec. 1.02をサポートしています。詳細については、www.onvif.orgを参照してください。

ONVIF
Driving network video through global standardization

お奨めする PC 仕様

- CPU ：インテルCore2 Duo 2.4GHzまたはそれ以上
- オペレーティング システム ：Windows XP、Vista、7、Mac OS
- 解像度 ：1280X1024 ピクセルまたはそれ以上
- RAM ：2GB 或更大
- ウェブブラウザ ：Internet Explorer 7.0 またはそれ, Firefox, Chrome, Safari
  - 当社のWebサイトにリリースされたものとは異なるベータテスト版や、開発者版はサポートされません。
  - Firefox v3.5以降では、警告メッセージのダイアログを表示するとエラーが発生する 場合があります。
  - Windows XPのIPv6に接続すると、問題が発生する場合があります。
    Windows 7のIPv6に接続することをお勧めします。
- ビデオメモリ ：256MB またはそれ以上

  - ビデオグラフィックアダプタのドライバが適切にインストールされていないか、最新バージョンでない場合には映像が適切に再生されないことがあります。

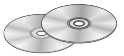
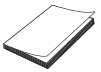
概要

お奨めする SD/SDHC メモリカード 仕様

- 2GB ~ 32GB
- 動画データを正確に録画するために、読み込みおよび書き込み速度 10Mbps お よびクラス 6 以上のメモリカードを使用することをお奨めします。

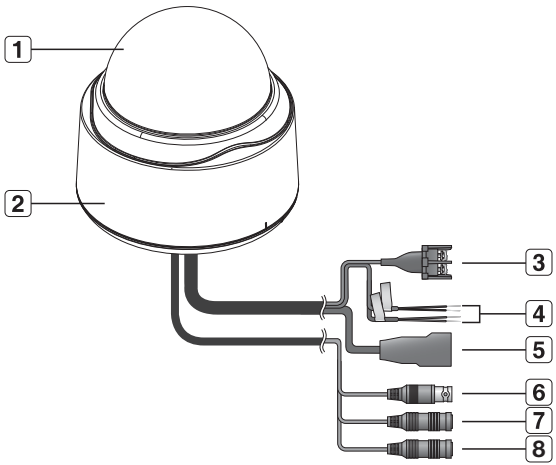
キット内容

製品パッケージに、カメラと付属品がすべて同梱されていることをご確認ください。

外観	品目名	数量	説明	モデル名
	ユーザーマニュアル / インストーラS/W CD / CMS S/W DVD	2		SND-7080/ SND-7080F
	クイックガイド	1		
	鉄ネジ	3	鉄板に固定するために使用します	
	テストモニタ用ケーブル	1	ポータブルディスプレイデバイスとカメラとの接続をテストするために使用します	
	防塵プレート	1	塵の侵入を防ぎます	SND-7080
	テンプレート	1	製品設置ガイド	SND-7080F
	タッピングネジ	1	セーフティブラケットを固定するために使用します	
	セーフティブラケット	1	セーフティブラケット	

概観 (SND-7080)

外観

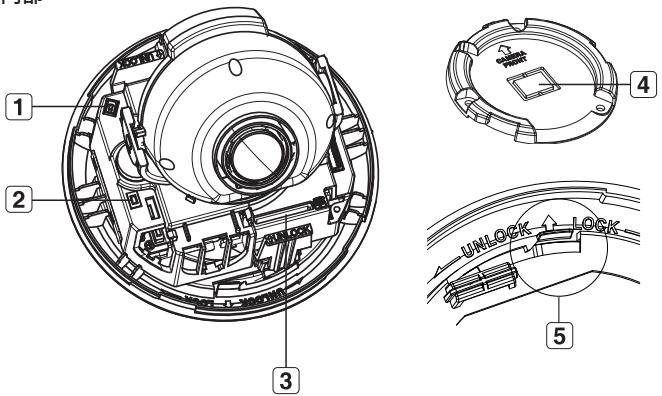


項目	説明	
1 上部カバー	レンズとメインユニットの保護に使用するケースカバー。	
2 カメラケース	レンズおよびカメラ本体を保護します。	
3 電源ポート	電源ケーブルの差込みに使用します。	
4 アラーム入力/出力端子	ARM-IN	BLUE : アラーム入力信号の接続に使用します。
	ARM-OUT	WHITE : アラーム出力信号の接続に使用します。
	A-COM	GRAY : アラーム出力信号が接続されている接続ポート。
	GND	YELLOW : 接地に使用します。

概要

項目	説明
5 ネットワークポート	PoEまたはLANケーブルの接続に使用します。
6 映像出力ポート	アナログのビデオ出力ポートです。(取付け用)
7 音声入力ジャック	マイクの接続に使用します。
8 音声出力ジャック	スピーカーの接続に使用します。

内部

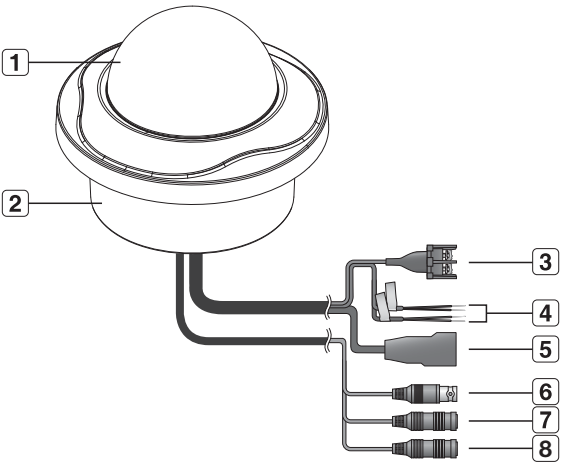


項目	説明	
1 モニターアウト	テストモニターケーブルはポータブルディスプレイヤーに接続し、カメラテストに使用します。	
2 リセットボタン	カメラの設定を初期値にリセットします。約5秒間押し続けてシステム・インジケータをオフにし、システムを再起動します。 ! カメラをリセットすると、DHCPを有効化されるようにネットワーク設定が調整されます。ネットワーク内にDHCPサーバーがない場合、ネットワークに接続する前に、IPインストーラプログラムを実行して、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどの基本的なネットワーク設定を変更する必要があります。	
3 SDメモリカードの区画	SDメモリカードの区画。	
4 配線カバー	配線のため配線カバーに穴を開ける場合は、カバーを取り外して穴に防塵プレートを取り付けて、プレートを通してケーブルを配置します。 防塵プレートは配線部分にほこりが入らないようにするためのものです。	
5 リリースロック	メインユニットからブラケットを取り外す、またはブラケットからカメラを取り外す場合は、これを押してメインユニットを<UNLOCK>方向に回します。	

概要

概観 (SND-7080F)

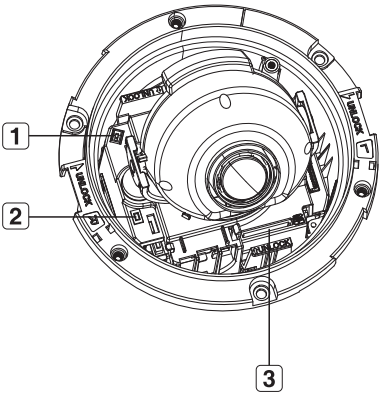
外観



項目	説明	
1 上部カバー	レンズとメインユニットの保護に使用するケースカバー。	
2 カメラケース	レンズおよびカメラ本体を保護します。	
3 電源ポート	電源ケーブルの差込みに使用します。	
4 アラーム入力/出力端子	ARM-IN	BLUE : アラーム入力信号の接続に使用します。
	ARM-OUT	WHITE : アラーム出力信号の接続に使用します。
	A-COM	GRAY : アラーム出力信号が接続されている接続ポート。
	GND	YELLOW : 接地に使用します。

項目	説明
5 ネットワークポート	PoEまたはLANケーブルの接続に使用します。
6 映像出力ポート	アナログのビデオ出力ポートです。(取付け用)
7 音声入力ジャック	マイクの接続に使用します。
8 音声出力ジャック	スピーカーの接続に使用します。

内部



項目	説明
1 モニターアウト	テストモニターケーブルはポータブルディスプレイヤーに接続し、カメラテストに使用します。
2 リセットボタン	カメラの設定を初期値にリセットします。約5秒間押し続けてシステム・インジケータをオフにし、システムを再起動します。 カメラをリセットすると、DHCPを有効化されるようにネットワーク設定が調整されます。ネットワーク内にDHCPサーバーがない場合、ネットワークに接続する前に、IPインストーラプログラムを実行して、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどの基本的なネットワーク設定を変更する必要があります。
3 SDメモリカードの区画	SDメモリカードの区画。

取付けおよび接続

取付け (SND-7080)

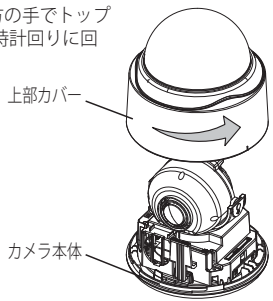
取付けに関する注意事項

カメラを取り付ける前に、以下の指示をよく読んでください。

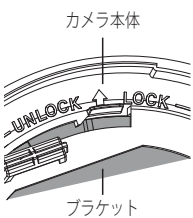
- 少なくともカメラ重量の5倍に耐えることができる取付け場所（天井または壁）を選択します。
- 引っかかっていたり、はがれたケーブルは製品の損傷または火災の原因となります。
- 安全のため、設置場所に人を近づけないでください。 また、万が一のため持ち物は取付け場所には置かないでください。

取外し

1. カメラ本体を片方の手でつかみ、もう一方の手でトップカバーをつかみます。 次に、カバーを反時計回りに回して取り外します。



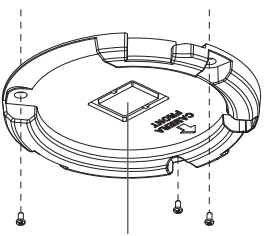
2. 図に示したようにロックレバーを外側の方向に押し下げて、カメラ本体を<**UNLOCK**>方向（反時計回り）に回して本体からブラケットを取り外します。
   - 失敗した場合は、ブラケットの下部の穴をつかんで、ブラケットを<**LOCK**>方向(時計回り)に回して取り外します。

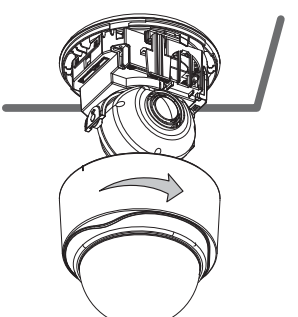


取付けおよび接続

取付け

1. 提供されたネジ（x3）を使用して、ブラケットを所定の位置（天井または壁）に固定します。
   - ブラケットの<**CAMERA FRONT**>のラベルがカメラの監視方向を向くようにします。
2. ケーブルをブラケットに通して天井または壁に配置します。
   - 配線のため天井カバーに穴を開ける場合は、カバーを取り外して穴に防塵プレートを取り付けて、プレートに通してケーブルを配線します。
     ケーブルを穴を開けずに配置する場合は、<**CAMERA FRONT**>ラベルとは反対側の空いているエリアを使用して配線します。
3. カメラ本体をブラケットに取り付けます。
   カメラ本体のマーキング穴をブラケットの<**CAMERA FRONT**>ラベルに合わせて、本体を<**LOCK**>方向に回します。
4. "カメラの監視方向の調整"を参照して、レンズを目的の方向に調整します。
5. 上部カバーを閉じます。
   - 上部カバーをカメラ本体の固定チップに合わせてカバーを時計回りに回します。

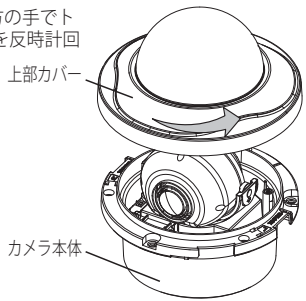




取付け (SND-7080F)

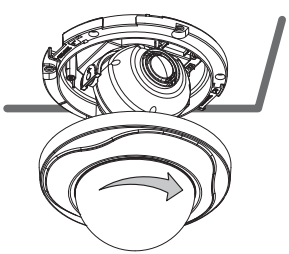
取外し

1. カメラ本体を片方の手でつかみ、もう一方の手でトップカバーをつかみます。 次に、カバーを反時計回りに回して取り外します。



取付け

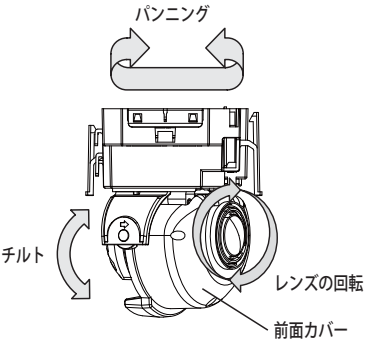
1. 同梱のテンプレートを使用して、カメラ用の穴とネジ用の穴（直径5mm、深さは最低35mm）を1つずつ開け、プラスチックアンカー（HUR 5）をねじ穴の端に差し込みます。
2. カメラの取付け時に、必要なケーブルが損傷したりねじれたりしないように接続および配線します。
3. カメラ用の穴に合うようにカメラ本体を差し込み、ASSYタッピングネジ（TH M4xL30）を使用してカメラ本体を固定します。(x3)
4. "カメラの監視方向の調整"を参照して、レンズを目的の方向に調整します。



5. 上部カバーを閉じます。
   - 上部カバーをカメラ本体の固定チップに合わせてカバーを時計回りに回します。

取付けおよび接続

カメラの監視方向の調整



❖ 監視方向の調整

カメラが天井に固定されている場合にのみカメラの方向を調整できます。

この場合、カメラユニットを左右に回すことをパンニング、上下角度を調整することをチルト、軸を中心にレンズを回転することをローテートと言います。

- パンニングの有効範囲は合計355度です。
- 回転の有効範囲は合計355度です。
- チルトの有効範囲は合計90度です。

- 角度によっては、上部カバーのために、監視する被写体の一部が写らなくなる可能性があります。
- 前面のカバーを取り外した後は、フォーカス/ズームレンズを無理に回転しないでください。
  無理に回転すると、モーターが故障して焦点が合わなくなることがあります。

❖ 調整方法

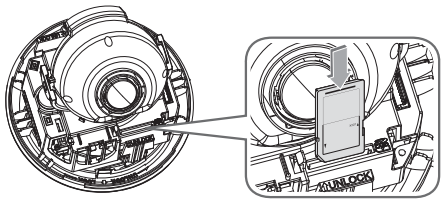
1. カメラを取り付けた後、監視方向に応じてパンニングの角度を調整します。
   カメラの上下の角度を調整する場合、画像が逆向きに表示されないように水平角度を調整する必要があります。
2. 回転角度を調整して画像の表示位置（上下左右）を修正します。
   - 回転とは、背面レンズユニットを基準に回転することを意味します。
3. カメラが監視する被写体の方向を向くようにチルトの角度を調整します。

SDメモリカードの挿入/取出し

- SDメモリカードを挿入する前に、カメラの電源ケーブルを抜いてください。

SDメモリカードの挿入

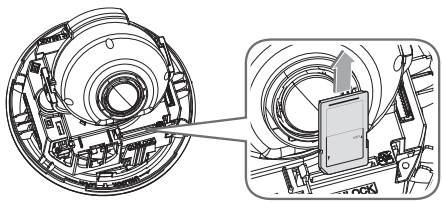
SD メモリカードを図のように矢印の方向に挿入します。



- 上下反対のままSDメモリカードを無理に挿入しないでください。 無理に差し込むと、SD メモリカードが破損する恐れがあります。

SDメモリカードの取出し

図に示されているように、メモリカードの露出部分を慎重に押して、スロットからメモリ



カードを取り出します。

- SDメモリカードを強く押しすぎると、手を放したときに、カードがスロットから勢いよく飛び出す可能性があります。
- SDメモリカードを取り出すには、<**録画**>の<**SD録画**>を<**OFF**>に設定して[**適用 (** ✓ **)**]を押します。 (68ページ)
- SDメモリカードにデータを保存した場合、録画をOFFにする前にSDメモリカードを取り出すとカードに保存したデータが破損します。

取付けおよび接続

メモリカード情報 (別売)

メモリカードとは

メモリカードは、デジタルデバイスを使用して動画、音声およびテキストデータを記録およ び共有するために新たに開発された外部データ記憶装置です。

用途に応じたメモリカードの選択

ご購入されたカメラは、SD/SDHCメモリカードをサポートしています。
しかし、メモリカードのモデルおよび型によって、互換性に障害が生じる場合があります。

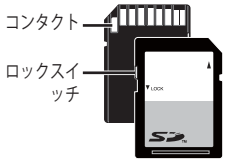
以下のメーカー製メモリカードを使用することをお奨めします:
SD/SDHCメモリカード : Sandisk, Transcend

プレイバック機能は、メモリカードの速度に左右されるので、高速メモリカードを使用して ください。

メモリカードの使用

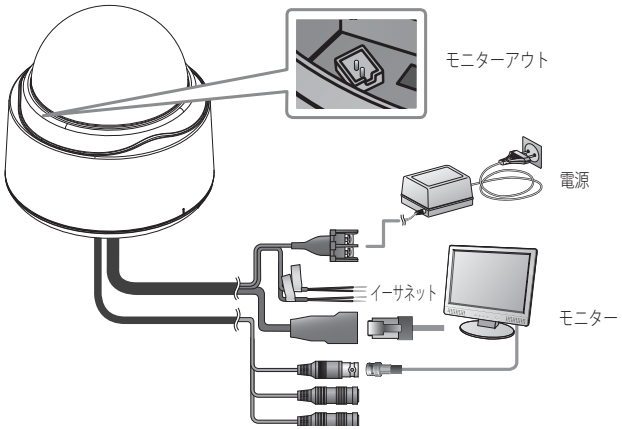
SD および SDHC メモリカードには、メディアへのデータ書き込みを無効にするスイッチが 付いています。
このスイッチを「ロック」にすると、メモリカードに保存したデータの偶発的な消失を防止 しますが、同時にメディアへのデータ書き込みもできなくなります。

❖ メモリカードの部位



SD/SDHC

他のデバイスとの接続



モニターとの接続

カメラの映像出力ポートを、モニターの映像入力ポートに接続します。

- 最初にカメラを取付けるときに、接続状態を確認するためカメラをモニターに接続できます。
- ビデオの出力タイプをNTSCまたはPALに設定できます。(52ページ)

- 製品にはBNC出力端子が用意されており、これを使用するとより簡単にインストールできますが、モニター用にはお勧めしません。
  BNCケーブルを接続したままにしていると、落雷の際に製品の破損または誤動作を引き起こす可能性があります。

イーサネット接続

イーサネットケーブルをローカルネットワークもしくはインターネットに接続します。

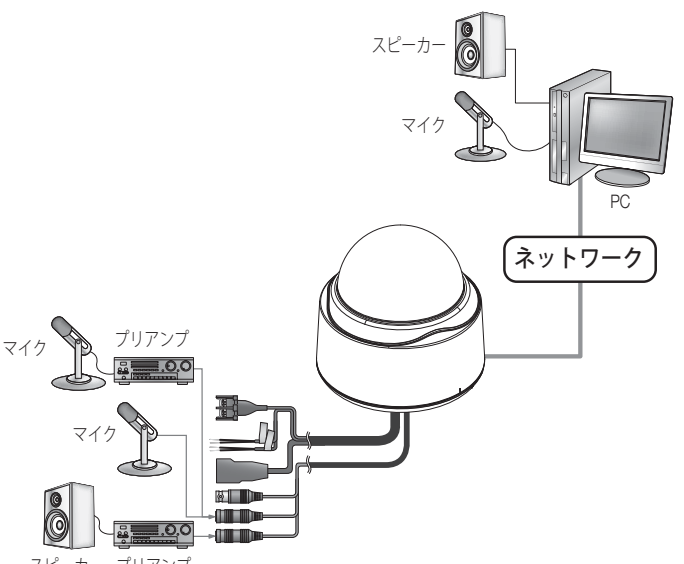
取付けおよび接続

電源

ドライバーを使用して、電源ケーブルの各線(+、–)をカメラの対応する電源ポートに接続します。

- 電源ケーブルの接続時に、極性を逆にしないようご注意ください。
  また、PoE（イーサネットケーブルを利用した電源供給）対応ルーターを使用して、カメラに電源を供給することもできます。
- PoEとDC12Vの両方が供給されている場合、この製品は最初に接続された電源によって作動します。
- AC 24V時は極性はありません。
- 接続する際には、モニターとカメラの電源がオフになっていることを確認してください。

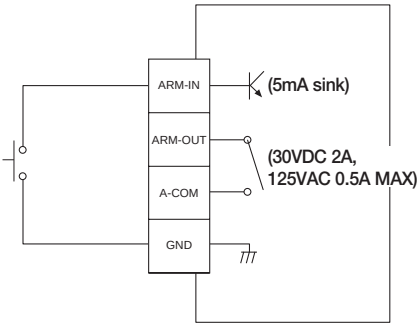
音声入力/出力への接続



1. カメラのAUDIO IN ポートをマイクに直接接続するか、マイクと接続したアンプのライン出力端子ポートに接続します。
2. カメラの AUDIO OUT ポートをスピーカーの ラインイン ポートと接続します。
3. 音声入力の仕様を確認します。

- **音声コーデック**
  G.711 PCM, μ-law 64kbps 8kHz サンプリング
- **全二重音声**
- **音声入力**
  モノシグナルライン入力用 (最大 2.4 Vpp)
- **音声出力**
  モノシグナルライン出力用 (最大 2.4 Vpp)
- **インピーダンスライン出力**
  600Ω

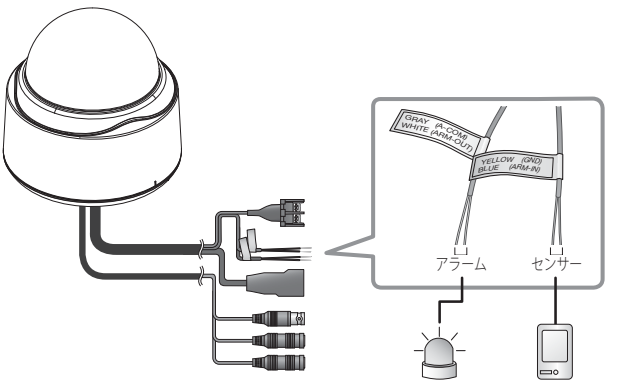
アラーム入出力配線図



取付けおよび接続

アラーム入出力信号の接続

ケーブルの入出力ポートを使用し、アラーム入出力信号を接続します。



ポート	説明	ポート	説明
ARM-IN	アラーム入力センサーポート	**GND**	接地ポート
ARM-OUT	アラーム出力	**A-COM**	アラーム出力(共通)

アラーム入力信号を接続するには

センサーの各信号ライン(2つより)の一方を[**ARM-IN**]ポートに接続し、もう一方を[**GND**]ポートに接続します。

アラーム出力信号を接続するには

外部デバイスの各信号ライン(2つより)の一方を[**ARM-OUT**]ポートに接続し、もう一方を[**A-COM**]ポートに接続します。

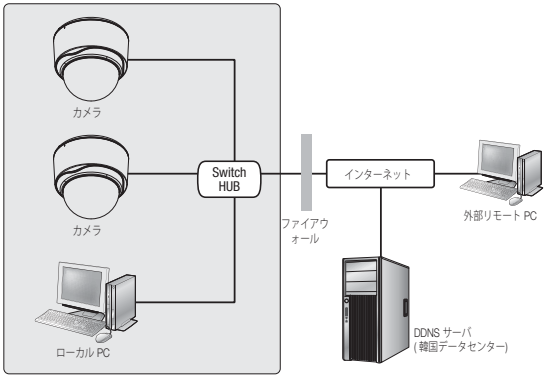
ネットワーク接続と設定

使用中のネットワーク環境に合わせてネットワークを設定することができます。

カメラを直接ローカルネットワークに接続する

LAN のローカル PC からカメラに接続する

1. ローカル PC でインターネットブラウザを起動します。
2. ブラウザのアドレスバーにカメラの IP アドレスを入力します。

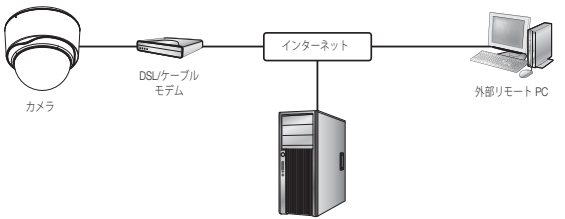


<ローカルネットワーク>

- LAN ネットワーク範囲外の外部インターネットのリモート PC は、ポート転送がきちんと設定されていない場合やファイアウォールが有効の場合には、設置済みカメラとインターネット接続ができない場合があります。
  この場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 工場出荷時の設定で、IPアドレスがDHCPサーバーから自動的に割り当てられます。
  使用可能なDHCPサーバーがない場合、IPアドレスは192.168.1.100に設定されます。
  IPアドレスを変更するにはIPインストーラを使用してください。
  IPインストーラの使用方法の詳細は、**"静的IPアドレスの設定"**を参照してください。
  (32ページ)

ネットワーク接続と設定

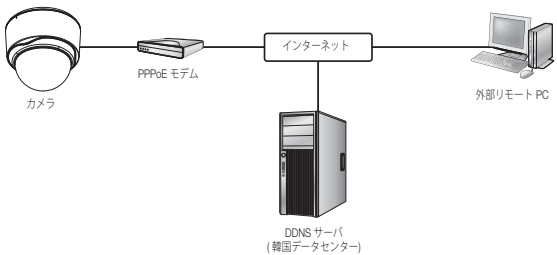
カメラを直接DHCPベースのDSL/ケーブルモデムに接続する



1. クロスLANケーブルを使用してネットワークケーブルを直接PCに接続します。
2. IPインストーラを実行してカメラのIPアドレスを変更し、デスクトップ上でWebブラウザを使用してインターネットと接続できるようにします。
3. インターネットブラウザを使用してカメラと接続します。
4. [**設定**]ページに移動します。
5. [**ネットワーク**] – [**DDNS**]に移動し、DDNSの設定を行います。
6. [**ネットワーク**] – [**インターフェース**]に移動し、ネットワークタイプを[**DHCP**]に設定します。
7. PCから取り外したカメラを直接モデムに接続します。
8. カメラを再起動します。

- DDNS設定の登録については"**DDNSによる登録**"を参照してください。 (62ページ)
- DDNSの設定については"**DDNS**"を参照してください。 (61ページ)
- ネットワークタイプの設定については、"**インターフェース**"を参照してください。 (60ページ)

PPPoEモデムへのカメラの直接接続



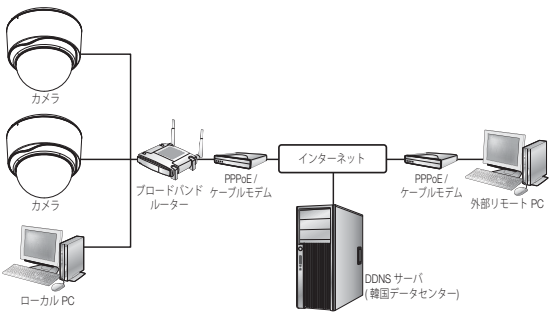
1. クロスLANケーブルを使用してネットワークケーブルを直接PCに接続します。
2. IPインストーラを実行してカメラのIPアドレスを変更し、デスクトップ上でWebブラウザを使用してインターネットと接続できるようにします。
3. インターネットブラウザを使用してカメラと接続します。
4. [**設定**]ページに移動します。
5. [**ネットワーク**] – [**DDNS**]に移動し、DDNSの設定を行います。
6. [**ネットワーク**] – [**インターフェース**]に移動し、ネットワークタイプを[**PPPoE**]に設定します。
7. PCから取り外したカメラを直接モデムに接続します。
8. カメラを再起動します。

- DDNS設定の登録については"**DDNSによる登録**"を参照してください。 (62ページ)
- DDNSの設定については"**DDNS**"を参照してください。 (61ページ)
- ネットワークタイプの設定については、"**インターフェース**"を参照してください。 (60ページ)

ネットワーク接続と設定

PPPoE/ケーブルモデムでカメラとブロードバンドルーターを接続する

この方法は、ホーム、SOHO、および一般の店舗などの小規模ネットワーク環境に適しています。



ブロードバンドルーターに接続したローカル PC のネットワーク環境の設定は

ブロードバンドルーターに接続したローカル PC のネットワーク環境の設定は、以下の手順で行ないます。

- 手順: <**Network Neighborhood**> → <**Properties**> → <**Local Area Connection**> → <**Properties**> → <**General**> → <**Internet Protocol (TCP/IP)**> → <**Properties**> → <**Obtain an IP address automatically**> または <**Use the following IP address**>.
- <**Use the following IP address**>を選択する場合には、以下の手順を実行します:

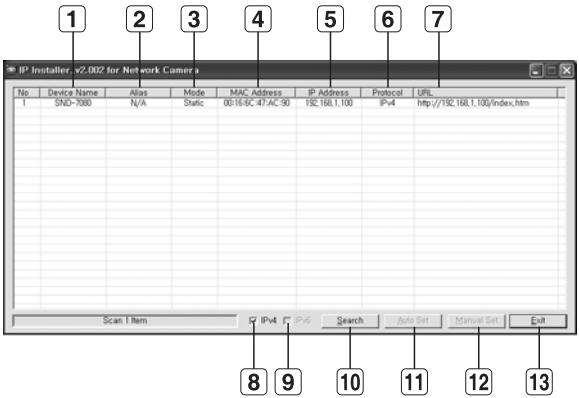
例1) ブロードバンドルーター のアドレス (LAN IP) が 192.168.1.1
IP アドレス: 192.168.1.100
サブネットマスク: 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ: 192.168.1.1

例2) ブロードバンドルーター のアドレス (LAN IP) が 192.168.0.1
IP アドレス: 192.168.0.100
サブネットマスク: 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ: 192.168.0.1

例 3) ブロードバンドルーター のアドレス (LAN IP) が 192.168.xxx.1
IP アドレス: 192.168.xxx.100
サブネットマスク: 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ: 192.168.xxx.1

- ブロードバンドルーターのアドレスに関しては、製品のユーザガイドを参照してください。
- ブロードバンドルーター文書の "**ートフォワード（ポートマッピング)の設定**" のセクションを参照してください。 (37ページ)

IPインストーラに使用するボタン



項目	説明
1 Device Name	接続しているカメラのモデル名です。 列をクリックしてモデル名順にリストをソートします。 ただし、検索中にクリックすると検索は停止します。
2 Alias	この機能は現在導入されていません。
3 Mode	現在のネットワーク接続状態によって、<Static>もしくは<Dynamic>と表示します。
4 MAC(Ethernet) Address	接続されているカメラのイーサネットアドレスです。 列をクリックしてイーサネットのアドレス順にリストをソートします。 ただし、検索中にクリックすると検索は停止します。
5 IP Address	IPアドレスです。 列をクリックしてIPアドレス順にリストをソートします。 ただし、検索中にクリックすると検索は停止します。 工場初期値は"**192.168.1.100**"です。
6 Protocol	カメラのネットワーク設定です。 工場初期値は"IPv4"です。 IPv6設定のカメラは、"IPv6"と表示されます。

ネットワーク接続と設定

項目	説明
7 URL	外部のインターネットからのアクセスに使用するDDNS URLアドレス。 ただし、DDNS登録が失敗した場合、このアドレスはカメラの <**IP Address**>に置き換わります。
8 IPv4	IPv4設定のカメラをスキャンします。
9 IPv6	IPv6設定のカメラをスキャンします。
10 Search	ネットワークに接続されているカメラをスキャンします。 ただし、IPv4、IPv6どちらも確認できない場合、このボタンはグレー表示されます。
11 Auto Set	IPインストーラによって自動的にネットワークが設定されます。
12 Manual Set	ネットワーク設定を手動で行う必要があります。
13 Exit	IP Installerプログラムを終了します。

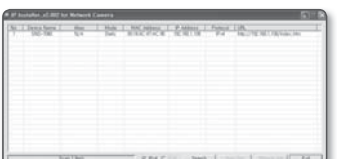
- IPインストーラは、インストールCDで提供されているインストーラバージョンか、入手可能な場合は最新バージョンのいずれかを使用してください。
  最新バージョンはSamsungのWebサイト（www.samsungipolis.com）からダウンロードすることができます。

静的IPの設定

手動ネットワーク設定

<**IP Installer_vX.XX.exe**>を実行し、カメラの検索リストを表示します。
最初の起動時には、[**Auto Set**]と[**Manual Set**]は両方グレー表示となります。

- IPv6設定のカメラが見つかった場合、カメラがこの機能をサポートしていないため、ボタンがグレー表示されます。



1. 検索リスト内のカメラを選択します。
   背面にMAC（イーサネット)アドレスのラベルが貼付されているカメラを検索します。
   [**Auto Set**]と[**Manual Set**]の両方のボタンが有効となります。
2. [**Manual Set**]をクリックします。
   Manual Settingダイアログが表示されます。
   カメラの<**IP Address**>、<**Subnet Mask**>、<**Gateway**>、<**HTTP Port**>および<**VNP Port**>の初期値が表示されます。

3. <**Address**>ペインに必要な情報が表示されます。
   - MAC (Ethernet) Address : 使用可能なカメラのMAC（イーサネット）アドレスは自動的に設定されるため、手動で入力する必要はありません。



▪ DHCPチェックボックスが選択解除されている場合にのみ、静的IPを設定することができます。

ブロードバンドルーターを使用しない場合

<**IP Address**>、<**Subnet Mask**>、<**Gateway**>の設定については、システム管理者にお問い合わせください。

4. <**Port**>ペインに必要な情報が表示されます。
   - HTTP Port : インターネットブラウザを使用してカメラにアクセスする際に使用します。初期設定は80です。スピンボタンを使用して、HTTPポートの値を変更します。
   - VNP Port : 映像信号の送信の制御に使用され、初期値は4520です。



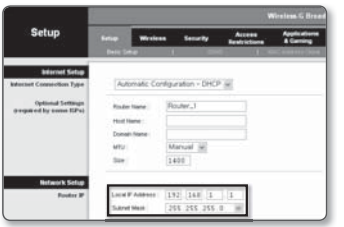
5. パスワードを入力してください。
   これは、カメラにアクセスする"**admin**"ユーザー用のログイン・パスワードです。
   パスワードの初期値は"**4321**"です。

▪ デフォルトのパスワードは、ハッキングスレッドにさらされる恐れがあるため、製品インストール後に変更することをお勧めします。
パスワードを変更しなかったことにより、セキュリティ関連の問題が起こった場合は、ユーザーの責任となります。

6. [**OK**]をクリックします。
   手動でのネットワーク設定が完了しました。

ネットワーク接続と設定

ブロードバンドルーター使用の場合



- IP Address: ブロードバンドルーターによって指定されたIP範囲でアドレスを入力します。
  例）192.168.1.2~254、
  192.168.0.2~254,
  192.168.XXX.2～254
- Subnet Mask : ブロードバンドルーターの<**Subnet Mask**>が、カメラの<**Subnet Mask**>となります。
- Gateway : ブロードバンドルーターの<**Local IP Address**>が、カメラの<**Gateway**>となります。

- 設定は、接続しているブロードバンドルーターのモデルによって異なる場合があります。詳細は、該当するルーターのユーザーマニュアルを参照してください。
- ブロードバンドルーター文書の "**ートフォワード（ポートマッピング)の設定**" のセクションを参照してください。 （37ページ）

ブロードバンドルーターに複数のカメラが接続されている場合

IPに関する設定と、ポートに関する設定は別々に設定します。

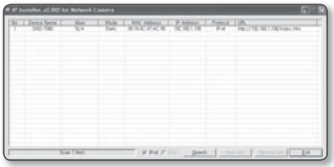
カテゴリ		カメラ #1	カメラ #2
IP設定	IP Address Subnet Mask Gateway	192.168.1.100 255.255.255.0 192.168.1.1	192.168.1.101 255.255.255.0 192.168.1.1
ポート設定	HTTP Port VNP Port	8080 4520	8081 4521

- <**HTTP Port**>が80以外に設定されている場合、カメラにアクセスするには、インターネットブラウザのアドレスバーで<**Port**>番号を設定する必要があります。
  例) http://IPアドレス: HTTPポート
  http://192.168.1.100:8080

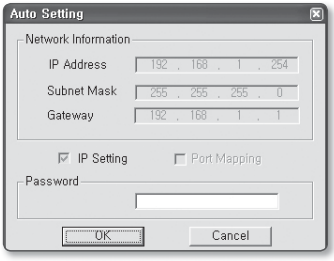
自動ネットワーク設定

<**IP Installer_vX.XX.exe**>を実行し、カメラの検索リストを表示します。
最初の起動時には、[**Auto Set**]と[**Manual Set**]は両方グレー表示となります。

- IPv6設定のカメラが見つかった場合、カメラがこの機能をサポートしていないため、ボタンがグレー表示されます。



1. 検索リスト内のカメラを選択します。
   背面にMAC（イーサネット)アドレスのラベルが貼付されているカメラを検索します。
   [**Auto Set**]と[**Manual Set**]の両方のボタンが有効となります。
2. [**Auto Set**]をクリックします。
   Auto Settingダイアログが表示されます。
   <**IP Address**>、<**Subnet Mask**>、<**Gateway**>が自動的に設定されます。
3. パスワードを入力してください。
   これは、カメラにアクセスする"**admin**"ユーザー用のログイン・パスワードです。
   パスワードの初期値は"**4321**"です。
   - デフォルトのパスワードは、ハッキングスレッドにさらされる恐れがあるため、製品インストール後に変更することをお勧めします。
     パスワードを変更しなかったことにより、セキュリティ関連の問題が起こった場合は、ユーザーの責任となります。
4. [**OK**]をクリックします。
   自動ネットワーク設定が完了しました。



ネットワーク接続と設定

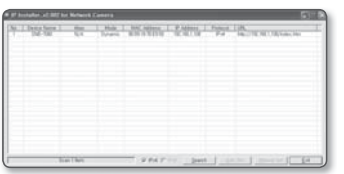
動的IP設定

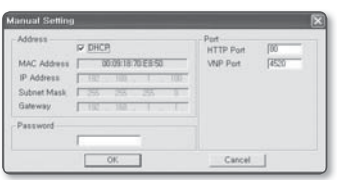
動的IP環境設定

- 動的IP環境の例
  - カメラに接続しているブロードバンドルーターが、DHCPサーバーでIPアドレスを割り当てられている場合
  - DHCPプロトコルを使用して直接カメラをモデムに接続する場合
  - IPがLAN経由で内部DHCPサーバーに割り当てられている場合

動的IPの確認

1. ユーザーのローカルマシン上でIPインストーラを実行し、リスト内の<**Dynamic IP**>アドレスが割り当てられたカメラを表示します。
2. リストからカメラを選択し、[**Manual Set**]をクリックしてカメラの<**Dynamic IP**>を確認します。<**DHCP**>のチェックを外しておくと、IPを<**Static**>に変更できます。





ートフォワード(ポートマッピング)の設定

カメラを接続したままブロードバンドルーターをインストールした場合は、ブロードバンドルーター上でポート範囲フォワードを設定し、ルーター内のカメラにリモートPCからアクセスできるようにする必要があります。

手動ポートフォワード

1. ブロードバンドルーターの設定メニューから<**Applications & Gaming**> - <**Port Range Forward**>を選択します。
サードパーティのブロードバンドルーター用にポートフォワードを設定するには、ブロードバンドルーターのユーザーマニュアルを参照してください。
2. ブロードバンドルーターに接続されている各カメラ用の、<**TCP**>と<**UDP Port**>を選択します。
ブロードバンドルーターの各ポート番号は、カメラの設定メニューの<**ネットワーク**> - <**ポート**>で指定した番号と一致する必要があります。



3. 完了後、[**Save Settings**]をクリックします。
設定が保存されます。

- 上記の説明の例はCISCOのブロードバンドルーター（モデル: LINKSYS）に基づいています。
- 設定は、接続しているブロードバンドルーターのモデルによって異なる場合があります。詳細は、該当するルーターのユーザーマニュアルを参照してください。

ネットワーク接続と設定

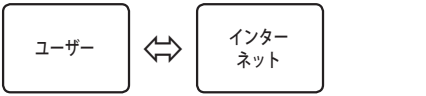
複数のネットワークカメラに関するポートフォワード範囲設定

複数のネットワークカメラが1つのブロードバンドルーターデバイスに接続されている場合、ルーターのTCP 943ポートを接続されているカメラのTCP 943ポートに転送する必要があります。

- ルーターのTCP 943ポートが正しく設定されていないと、カメラのWebページから映像ストリーミングを取得することはできません。

- TCP 943ポートは、カメラのSilverlightポリシーサーバーポートです。

カメラ1とカメラ2がルーターに接続されている場合:



ブロードバンドルーター			
開始	終了	プロトコル	IPアドレス
943	943	TCP	192.168.1.100
3000	3000	TCP/UDP	192.168.1.100
3001	3001	TCP/UDP	192.168.1.101
4520	4520	TCP/UDP	192.168.1.100
4521	4521	TCP/UDP	192.168.1.101
8080	8080	TCP/UDP	192.168.1.100
8081	8081	TCP/UDP	192.168.1.101

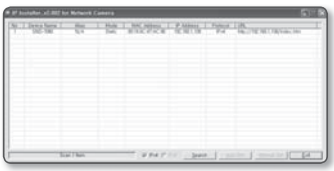
カメラ1 (192.168.1.100)	
Webサーバーポート	8080
VNPポート	4520
RTSPポート	3000
ポリシーサーバーポート	943

カメラ2 (192.168.1.101)	
Webサーバーポート	8081
VNPポート	4521
RTSPポート	3001
ポリシーサーバーポート	943

- ブロードバンドルーターデバイスの設定Webページで、ポートフォワーディングのルールを設定することができます。
- カメラのSilverlightポリシーサーバーポートを変更することはできません。
- 設定Webページから、ポリシーサーバーポート以外のカメラのポートを変更することはできません。

共有ローカルPCからカメラへの接続

1. IPインストーラを実行します。
   接続されているカメラをスキャンし、そのリストを表示します。
2. アクセスするカメラをダブルクリックします。
   インターネットブラウザが起動し、カメラに接続されます。



- インターネットブラウザのアドレスバーに検出されたカメラのIPアドレスを入力し、カメラにアクセスすることもできます。

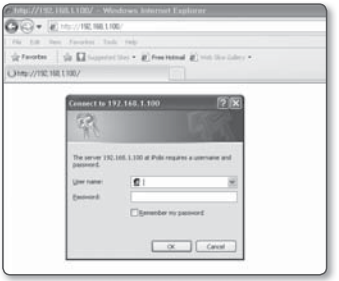
リモートPCからインターネット経由でのカメラへの接続

ブロードバンドルーターのネットワーククラスターに属さないリモートコンピュータ上でIPインストーラを使用することはできないため、ユーザーはカメラのDDNS URLを使用してブロードバンドルーターのネットワーク内のカメラにアクセスすることができます。

1. ブロードバンドルーターのネットワーク内のカメラへアクセスする前に、ブロードバンドルーターにポートフォワードを設定しておく必要があります。
2. リモートPCから、インターネットブラウザを起動しカメラのDDNS URLアドレスを入力するか、アドレスバーでブロードバンドルーターのIPアドレスを入力します。
   例）http://www.samsungipolis.com/[製品ドメイン]

カメラへの接続

通常の方法



1. インターネットブラウザを起動します。
2. アドレスバーにカメラのIPアドレスを入力します。
   例) • IPアドレス(IPv4) : 192.168.1.100 → http://192.168.1.100 - ログインダイアログが表示されます。
   • IPアドレス(IPv6) : 2001:230:abcd:ffff:0000:0000:ffff:1111 → http://[2001:230:abcd:ffff:0000:0000:ffff:1111] - ログインダイアログが表示されます。

HTTPポートが80以外の場合

1. インターネットブラウザを起動します。
2. アドレスバーにカメラのIPアドレスとHTTPのポート番号を入力します。
   例） IPアドレス : 192.168.1.100:HTTPのポート番号(8080)
   → http://192.168.1.100:8080 - ログインダイアログが表示されます。

URLを使用する場合

1. インターネットブラウザを起動します。
2. アドレスバーにカメラのDDNS URLを入力します。
   例） URLアドレス : http://www.samsungipolis.com/[製品ドメイン]
   - ログインダイアログが表示されます。

DDNSアドレスを確認するには

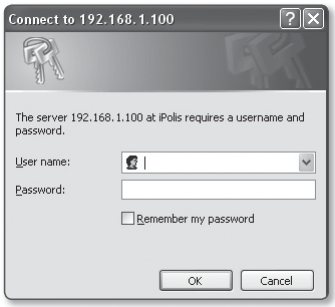
カメラが直接DHCPケーブルモデム、DSLモデムまたはPPPoEモデムと接続している場合には、ISP(インターネットサービスプロバイダ)サーバーに接続するたびにネットワークのIPアドレスが変更されます。
その場合、DDNSによるIPアドレスの変更は通知されません。

動的なIPベースのデバイスをDDNSサーバーに登録すると、そのデバイスにアクセスするときに、変更されたIPを簡単に確認することができます。
IPアドレスを<**DDNS**>サーバーに追加するには、www.samsungipolis.comにアクセスしてデバイスを登録し、DDNSサーバーのホスト名を入力する前にDDNSオプションを<**Samsung DDNS**>に設定します。

ログイン

ユーザーIDの初期値は"**admin**"で、パスワードの初期値は"**4321**"です。

1. <**User Name**>入力ボックスに"**admin**"と入力します。
2. <**Password**>の入力ボックスに"**4321**"と入力します。
   パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します。
3. [**OK**]をクリックします。
   正常にログインすると、Live Viewerの画面が表示されます。



- セキュリティの観点から、パスワードを<**システム**> - <**ユーザー**>で変更してください。
  管理者ID"**admin**"は、確定されており変更できません。
- デフォルトのパスワードは、ハッキングスレッドにさらされる恐れがあるため、製品インストール後に変更することをお勧めします。
  パスワードを変更しなかったことにより、セキュリティ関連の問題が起こった場合は、ユーザーの責任となります。
- 入力完了時に、"**Remember my password**"オプションをチェックしておくと、次回からはログイン情報の入力を求められることなく自動的にログインします。

- Internet Explorer 7.0または8.0を標準のWebブラウザとして使用すると、100%の画面倍率で最良の画質で映像を表示できます。 倍率を小さくすると、境界線上の画像がカットされます。

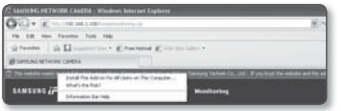
ACTIVEXのインストール

初回にカメラに接続する際には、インストールメッセージが表示されます。次にカメラにアクセスし、カメラからの映像をリアルタイムに制御するために必要なActiveXをインストールします。

1. モニタリングページの起動画面にアクセスする場合は、ページの上部にある黄色い警告メッセージをクリックします。



2. <**Install This Add-on for All users on This Computer...**>をクリックします。



3. セキュリティ警告のポップアップが表示されます。[**Install**]をクリックします。
4. カメラにアクセスし、必要なActiveXがインストールされると、Live画面が表示されます。



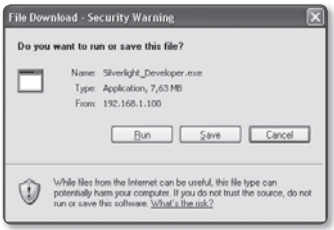
SILVERLIGHT RUNTIMEのインストール

ユーザーのPCにSilverlight Runtimeがインストールされていないか、古いランタイムバージョンがインストールされている場合には、Web Viewerにアクセスすると自動的にSilverlight Runtimeのインストールページに出力先が変更されます。

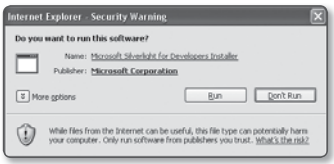
1. <**Click Here**>をクリックします。



2. ファイルダウンロードのダイアログがポップアップしたら<**Run**>をクリックします。



3. ダウンロード完了後<**Run**>をクリックします。



4. Silverlight Runtimeのインストールページが表示されます。 インストールを続行するには<**Install Now**>をクリックします。



5. 完了後、<**Close**>をクリックします。



6. Webブラウザを終了して再起動し、Web Viewerにアクセスしてください。適切にSilverlight Runtimeがインストールされている場合は、ライブ画面が表示されます。



- 通常のインストールでは、次のようにポップアップブロックを設定します。
  例) **Internet Explorer → ツール → ポップアップブロック → ポップアップブロッカーを無効にする**（**B**）
- ただし、インターネットに接続されていないMAC OS Xユーザーは、付属のインストールCDを使用してSilverlight Runtimeをインストールできます（CDに含まれている実行形式の"Silverlight_xxx.dmg"を実行します。指示された手順に従ってソフトウェアをインストールします）。

- ActiveXおよびSilverlight Web Viewerは以下の条件で動作可能です。
  - Internet Explorer : ActiveXビューアを開きます。 全解像度で動作可能です。
  - その他のブラウザ : Silverlightビューアを開きます。 H.264の場合は、1600x1200および2048x1536（1920X1080以上）の解像度で表示することはできません。

ライブ画面の使用方法



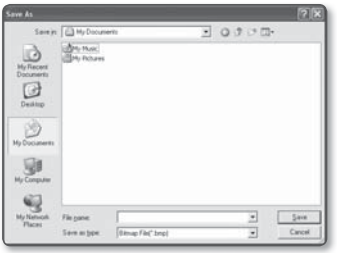
項目	説明
1 Monitoring	モニターリング画面に移動します。
2 再生	SDメモリ内に記録したデータを再生するモニタリング画面に切り替えます。
3 設定	設定画面に移動します。
4 Viewer画面	ライブ映像を画面に表示します。
5 アラーム出力	アラーム出力ポートを有効化します。
6 音声	音声のリッスンとトークのトグルボタンを画面に表示します。
7 アラームインジケータの非表示	ビューワー画面の境界の近くにあるアラームインジケータを非表示にします。 ■ 次の場合、ビューワーの境界線上にアラームメッセージがポップアップ表示されます。 - イベント（アラーム、モーション検知、映像分析）が発生した場合 - カメラの電源がオフの場合 - ネットワークが切断されている場合

項目	説明
8 デジタルズーム	マウスのホイールを使用してデジタルズームを制御します。
9 画面の最適化、全画面	最適なサイズに画面を調整し、ライブ画面上に全画面アイコンを表示します。
10 取込み	スナップショットを形式または.bmp形式の画像ファイルとして保存します。
11 映像フォーマット	<**音声＆ビデオ**>設定メニューの下の<**ビデオprofile**>でプロファイルタイプを選択できます。 "無効なコーデック"のメッセージが表示されたら、プロファイルリストからプロファイルタイプをもう一度選択します。

- 温度が運転可能な範囲を下回ると、映像信号が出力されない場合があります。そのような場合には、映像が表示されるまでお待ちください。
- 再生および設定メニューに関するWebページは、管理者のみがアクセスできます。他のユーザーアカウントに対しては、これらのボタンは無効になります。

スナップショットを取り込むには

1. 取り込みたい場面の上で[ ]をクリックします。
   取込みダイアログが表示されます。
2. [**Save**]ボタンをクリックします。
   スクリーンショットが指定のパスに保存されます。



- Windows 7をベースとするPCでIE8を使用している場合は、"**ツール–インターネットオプション–セキュリティ**"と選択し、"**保護モードを有効にする**"を解除します。

音声を切り替えるには

1. [**音声 (** **)**]ボタンをクリックします。
   対応するボタンがViewer内に表示されます。
2. 必要に応じてボタンをクリックして音を出力するかミュートします。
   このボタンは切替ボタンとして動作します。



マイクの音声を切り替えるには

1. [**マイク (** **)**]ボタンをクリックします。
   対応するボタンがViewer内に表示されます。

   ▪ マイクがない場合には"**音声録画デバイスが見つかりません**"というメッセージが表示されます。

2. ボタンをクリックして会話を開始/停止します。
   このボタンは切替ボタンとして動作 します。
   マイクボタンをクリックすると、Silverlight権限ダイアログが表示されます。

   ▪ 音声およびMIC ボタン（ , ）はビューアー画面で表示または非表示に切替えるためだけのボタンであるため、これらのボタンの実際の操作を制御することはできません。したがって、マイクや音声設定を調整する場合は、ビューアー画面の切替ボタンを使用してください。

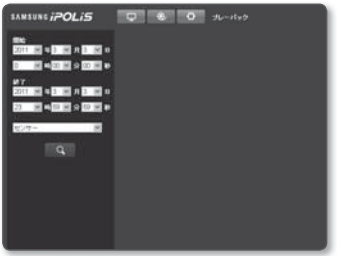
全画面で表示するには

1. [**全画面(** **)**]ボタンをクリックします。
   対応するボタンがViewer内に表示されます。
2. ボタンをクリックします。
   これでViewerが全画面で表示されます。
3. 全画面モードを終了するには、キーボードの[**Esc**]を押します。

   ▪ ActiveXビューアの場合は、音声入出力ボタンおよび全画面ボタンは画面上部に表示されないため、ページ上で該当のボタンをクリックするだけでこの操作を実行できます。

再生

1. [**再生 (**)]ボタンをクリックします。
2. 検索の開始および終了時間を指定します。
3. 検索タイプを選択します。
4. [**検索 (**)] ボタンをクリックします。
   検索結果がリスト内に表示されます。



- 検索期間内に500を超えるイベントが記録されている場合、検索は、500個目のイベントが記録された日付までに制限されます。
  たとえば、検索期間が当月の10日から15日までで、10日から11日までに500を超えるイベントが記録された場合、検索は合計500のイベントが記録された11日までに制限され、それより後（12日から）のイベントは検索されません。

5. 検索リスト内でデータ項目を選択して再生します。
6. [**再生 (**)]ボタンをクリックします。
7. 映像の再生を停止するには、[**停止 (**)] をクリックします。
   検索画面に戻るには、[**戻る (**)] をクリックします。



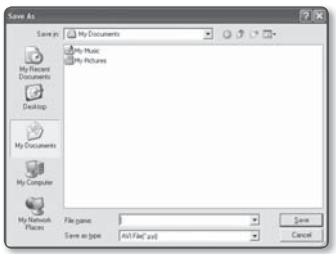
- Internet Explorer以外では、Silverlight Web viewerでのビデオ再生時の解像度は最大640x480です（H.264で保存されている場合）。

再生する映像の情報を確認するには

1. [**ビデオ情報** (▮)] ボタンをクリックします。
2. 画面上に日付と時刻の情報が表示されます。

検索された映像をバックアップするには

1. バックアップする場面の上で[▮]をクリックします。
   取込みダイアログが表示されます。
2. [**Save**]をクリックします。
   スクリーンショットが指定のパスにバックアップされます。



- Windows 7をベースとするPCでIE8を使用している場合は、"**ツール-インターネットオプション-セキュリティ**"と選択し、"**保護モードを有効にする**"を解除します。

バックアップビデオを再生するには

バックアップビデオは.avi形式で保存されます。バックアップビデオは、ご使用のPCでサポートされている任意のマルチメディア形式で再生可能です。

設定画面

設定

ネットワーク内のカメラの音声と映像、ネットワーク、イベントとシステム設定を設定することができます。

1. ライブ画面で [**設定 (** ⚙ **)**]をクリックします。
2. 設定画面が表示されます。

音声と映像の設定

ビデオprofile



1. 設定メニューから、<**音声＆ビデオ (** 🎥 **)**>タブを選択します。
2. <**ビデオprofile**>をクリックします。
3. <**メガピクセルモード**>を指定します。<**2メガピクセル**>または<**3メガピクセル**>を選択できます。 モードを変更すると、ビデオリセットメッセージが表示されます。 メッセージを確認すると、ビデオ設定がリセットされます。
4. <**ビデオProfile**>番号を選択します。
5. 各項目の入力ボックスをクリックして、値を入力/選択します。
   - 選択したコーデックタイプに応じてコンテキストメニューが異なる場合があります。
   - 基本profile : これはデフォルトの映像プロファイルです。
   - E-mail/FTP profile : 指定した電子メールまたはFTPサイトに伝送される映像プロファイル。
     - MJPEGコーデックのみをE-mail / FTP profileとして設定できます。
   - 録画profile : これは映像の録画に適用されるプロファイルです。
6. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

映像プロファイルを追加するには

必要な数のコーデックを追加して、録画条件に従って様々なプロファイルを適用することができます。

1. プロファイル番号を選択します。
2. 名前を入力してコーデックを選択します。
3. コーデックを適用する際の条件を指定します。
4. 解像度およびフレームレートなど、選択したコーデックの詳細を指定します。
   - 解像度 : H.264およびMJPEGファイルのビデオサイズを設定します。
   - フレームビートレート : フレームビートレートを指定します。
   - 圧縮 : 映像の圧縮率を指定します。
   - 最大ビットレート: ビデオの最大ビットレートを指定します。

   ▪ 解像度、フレームレート、および画面の複雑さに応じてビットレートが調整されるため、実際のビットレートが最大ビットレートを超えることがあります。そのため、値を設定する際には使用条件を考慮する必要があります。

   - ビットレート制御 : 圧縮について固定ビットレートまたは可変ビットレートを選択することができます。
     固定ビットレート（CBR）では、映像品質は変化しネットワーク転送ビットレートは固定されますが、可変ビットレートではネットワーク転送ビットレートを変化させることによって品質がよくなります。
   - ターゲットビートレート : 映像を伝送する際のビットレートを指定します。
   - ENCODING優先順位 : 映像の伝送方式を、フレームビートレートと画質のいずれかに設定できます。
   - GOPサイズ : GOPサイズを1から15の間で選択します。
   - Profile : プロファイル方式のH.264を選択することができます。
   - ENTROPYコーディング : エンコーディングによる圧縮損失を低減します。
   - Smart codec : スマートコーデックを使用するかどうかを指定します。

   ▪ スマートコーデックが有効なのは、コーデックがH.264で、圧縮システムがCBRである場合のみです。

   - Multicast(VNP) : VNPプロトコルの使用を指定します。
     - IPv4 : Pv4ネットワークに接続する際のIPv4アドレスを入力します。
     - Port : 映像通信ポートを指定します。
     - TTL : VNPパケットのTTLを設定します。
   - Multicast(RTP) : RTPプロトコルの使用を指定します。
     - IPv4 : IPv4ネットワークに接続する際のIPv4アドレスを入力します。
     - Port : 映像通信ポートを指定します。
     - TTL : RTPパケットのTTLを設定できます。

設定画面

GOPサイズとは

GOP(画像グループ)とは、H.264圧縮用のビデオフレームセットで、先頭のIフレーム(キーフレーム)から次のIフレームまでのフレームの集まりのことです。GOPは、IフレームとPフレームの2種類のフレームで構成されます。

Iフレームは圧縮のための基準となるフレームでキーフレームとも呼ばれ、ここには1つの完全な画像データが含まれています。Pフレームには先行するIフレームから変更されたデータのみが含まれます。

H.264 CODECの場合は、1~15の間で指定できます。

ビデオ設定



1. 設定メニューから、<**音声＆ビデオ** ( )>タブを選択します。
2. <**ビデオ設定**>をクリックします。
3. <**ビデオソース**>モードを選択します。
   - FLIPソース : カメラで取り込まれた画像の上下を反転します。
   - ミラーソース : カメラで取り込まれた画像の左右を反転します。
4. <**ビデオタイプ**>を選択します。
5. プライバシー領域を指定します。
6. 設定完了後、[**適用** ( )]をクリックします。

プライバシー領域を設定するには

カメラの映像の特定の領域を指定して、プライバシーを保護することができます



1. <**On**>に設定します。
2. プライバシーゾーンを指定します。
   - 四角 : ビデオの特定の箇所にカーソルを置き、必要な箇所までドラッグします。
     ゾーンは12まで指定できます。
   - 四角形 : ビデオ上で（四辺形を形成する）4個の頂点を選択します。
     ゾーンは1つまで指定できます。

3. 名前を入力して[**OK**]を押します。
4. 領域を削除するには、リスト内の領域を選択して[**削除 (** 削除 **)**].を押します。
5. 設定完了後、[**適用 (** **)**]をクリックします。

音声設定

カメラからの音声ソースの入出力に関する設定を行うことができます。



1. 設定メニューから、<**音声＆ビデオ (** **)**> タブを選択します。
2. <**音声設定**>をクリックします。
3. 音声の入出力レベルを必要に応じて調整します。
   - 音声入力 : 音声入力を使用するかどうかを設定し、入力値を指定することができます。
   - 音声出力 : 音声出力を使用するかどうかを設定し、出力値を指定することができます。
4. 設定完了後、[**適用 (** **)**]をクリックします。

カメラ設定

カメラを配置する環境に従ってカメラの設定を変更することができます。



1. 設定メニューから、<**音声＆ビデオ (** **)**>タブを選択します。
2. <**カメラ 設定**> をクリックします。
3. 必要に応じて、 SSDR、White balance、逆光補正、露出補正、Special、OSD、時間 OSD。
4. 設定完了後、[**適用 (** **)**]。
   - 設定の変更後、[**適用 (** **)**]ボタンを押さずに一定の時間(タイムアウトは240秒)が経過すると、変更は適用されません。

設定画面

SSDR (Samsung Super Dynamic Range) 設定

明暗の差異が明確な場面では、暗い領域の輝度のみを高めることにより、全体の輝度を制御できます。



1. <**SSDR**>を選択します
2. <**モード**>を<**On**>に設定します。
3. 必要に応じて<**Level**>と<**D-Range**>を設定します。
   - Level : ダイナミックレンジのレベルを調整します。
   - D-Range : ダイナミックレンジの振幅領域を選択します。

ホワイトバランスの設定

任意の光源状態で白色にもとづいて画像の色を修正することができます。



1. <**White balance**>を選択します
2. <**モード**>に設定します。
   - ATW : カメラの映像の色を自動的に修正します。
   - マニュアル : カメラ映像の赤と青のゲインを手動で調整することができます。
   - AWC : 現在の光源状態および画面モードに合わせて最適化されるようにカメラ映像の色が修正されます。
     光源状態が変化した場合には、再調整の必要が生じることがあります。
   - 室外 : 室外環境に合わせて最適化されるようにカメラの映像の色が自動的に修正されます。
   - 室内 : 室内環境に合わせて最適化されるようにカメラの映像の色が自動的に修正されます。

▪ AWCモードで、現在の画像のホワイトバランスレベルを保持する場合は[**AWC Set**]ボタンをクリックします。

逆光補正のカスタム設定

手動で映像の上で領域を指定して、その領域をより明確に表示するように設定できます。

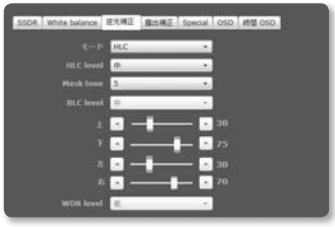
1. <**逆光補正**>を選択します。
2. <**モード**>を<**BLC**>に設定します。
3. <**BLC level**>を設定します。
   レベルを変更してモニターエリアの輝度を調整することができます。
4. <**上**、**下**、**左**、**右**>のレベルを設定して対象のエリアを指定します。



HLC (Highlight Compensation) の設定

カメラに向かって街灯やヘッドライトなどの強い光が差し込む場合には、光に照らされた領域をマスクしてカメラを飽和から保護することができます。

1. <**逆光補正**>を選択します。
2. <**モード**>を<**HLC**>に設定します。
3. <**HLC level**>と<**Mask tone**>を設定します。
   - HLC level : 特定条件から入射光を取り除くため、輝度レベルを調整します。
   - Mask tone : 光が当たった領域のMask toneを調整します。



- 夜間操作時では、入射光が低コントラスト環境の特定領域の範囲を超える場合にのみ、この機能が有効になります。
- 夜間操作時、明るすぎるまたは暗すぎる場面ではHLCは機能しません。

設定画面

WDR設定

明るい領域と暗い領域の両方が存在するシーンで、被写体の画像を鮮明に表示します。

1. <**逆光補正**>を選択します。
2. <**モード**>を<**WDR**>に設定します。
3. <**WDR level**> を指定します。



- WDRは<**メガピクセルモード**>が<**2メガピクセル**>に設定されている場合にのみ利用可能です。
- WDRモードが有効な場合は、シャッターモードを変更することはできません。ネットワーク経由でのデータ転送は、15 fpsまで対応可能です。
- WDRモードが有効な場合、移動する被写体の残像が画面に残る可能性があります。

露出の設定

カメラの露出レベルを調整することができます。

1. <**露出補正**>を選択します。
2. 各項目を適切に選択および設定します。
   - Brightness : 画面の輝度を調整します。
   - Shutter モード : カメラの電子シャッターを調整します。
     - ESC（電子シャッター制御）：周辺輝度に応じて、シャッタースピードを自動的に調整します。
     - Manual : カメラのシャッタースピードを手動で調整します。
     - A.FLK（ちらつき防止）：これにより、画面のちらつきを防止します。
   - Shutter 速度 : シャッタースピードは手動でコントロールします。
   - SSNR3 : ノイズリダクションの使用を指定します。
   - SSNR3 level :ノイズリダクションのレベルを調整します。
   - Sens-up モード : 夜や低コントラスト場面の暗さレベルを自動的に感知し、画像を明るく鮮明にする場合はレベルに応じて蓄積時間を延長します。
     - シャッターモードをManual/A.FLKに設定すると、Sens-up モードは無効になります。
     - 映像の蓄積係数を大きくすると画面は明るくなりますが、それに応じて動く被写体の残像も大きくなります。



- Sens-up limit : 低コントラストの場面では作業条件をAutoモードに設定します。
- Iris : カメラの絞りを目的に応じてAUTOまたはMANUALに設定することができます。
  - シャッタータイプがESCのカメラでは、<**MANUAL**>に設定した場合にのみ、絞りが正常に機能します。
    絞りが<**自動**>に設定されている場合、シャッタースピードはESCモードの1/30秒に固定されます。
- AGC モード: 画面の輝度に合わせてレベルを指定します。
- 屋内/屋外 : 設置環境に合わせて屋内または屋外を選択します。

Specialの設定

1. <**Special**>を選択します。
2. 各項目を適切に選択および設定します。
   - Day / night :モードを切り替えて、黒と白のレベルおよび色を調整することができます。
     - Color : 映像は常にカラーモードで表示されます。
     - B/W : 映像は常に白黒モードで表示されます。



     - 自動 : 通常の昼間にはカラーモードで表示され、夜間の低コントラストの場面では白黒モードに切り替わります。
       - AGCモードを<露出補正>からOFFに設定すると、それに応じてAUTO DAY/NIGHTモードは無効になります。
     - 外部 白黒 : 外部IRがアラーム入力ポートを介して同期されている場合、画像モードのカラーおよび白黒を制御します。
   - 切替時間 : これは昼間と夜間のモード切替を可能にするために、それぞれの光源状態を保持している時間です。
   - 切替条件 : モード切替を実行する場所の光源の輝度を調整します。
   - Sharpness : 画像の全体の鮮明度を調整します。
     <**On**>を選択すると、画像の鮮明度を調整できます。
   - Sharpness level : レベルを上げると画像の輪郭がより鮮明でくっきりします。
   - Gamma : 画像のコントラストを調整します。
   - Color level : 画像のカラーレベルを調整します。
   - アラ-ム入力 : IRと同期しているアラームセンサーの状態に応じて画像をカラーまたは白黒に設定します。
     - 昼/夜モードが外部 白黒に設定されている場合、イベントアラーム入力ページのアラーム入力機能は無効になります。

設定画面

OSD設定

1. <**OSD**>を選択します。
2. 各項目を適切に選択および設定します。
   - カメラ title : リスト内で英数字を使用して下部の入力行にタイトルを入力します。
     - タイトルには15文字まで入力できます。



   - カメラ title pos x、y: カメラタイトルを表示する座標を指定します。

時間OSD設定

1. <**時間OSD**>を選択します。
2. 各項目を適切に選択および設定します。
   - 時間ディスプレイ : 時刻表示の使用を指定します。
   - 日付フォーマット : 画面に表示される日付のフォーマットを指定します。
   - Time 位置 ディスプレイ X、Y : 時刻の位置を指定します。
   - 曜日の表示 : 画面に曜日を表示するかどうかを指定します。



Smart codec設定

カメラから入力されるビデオに必要な領域を関心領域として設定し、その領域の検出感度を指定します。

1. 設定メニューから、<**音声＆ビデオ**( )>タブを選択します。
2. <**Smart codec設定**> をクリックします。
3. 関心領域を選択します。
   - 顔検出 : 監視画面で顔が認識されると有効になります。



     - 顔検出が有効なのは、次の条件が満たされた場合のみです。
       - 顔が上部から左右±45度の位置にある。
       - 顔回転の有効範囲は垂直角度±30度、水平角度±60度以内である。
       - 顔の最小サイズが解像度320x240に基づいた20x20である。
   - 手動 : 手動で監視する関心領域を指定します。

4. 関心領域の画質と検出感度を選択します。
5. 関心領域を手動で指定する場合は、マウスポインタで目的の領域を選択し、目的の場所までドラッグします。
   - 最大5つの異なる領域を指定できます。
6. 選択を取り消すには、単に [ ] をクリックします。
7. 設定完了後、 [**適用 (** **)**]をクリックします。

- <**ビデオprofile**>でスマートコーデックが<**Off**>に設定されている場合、有効になりません。 (50ページ)

フォーカス設定

ズーム倍率や画像フォーカスを調整できます。

1. 設定メニューから、<**音声＆ビデオ (** **)**> タブを選択します。
2. <**フォーカス設定**>をクリックします。
3. ズームおよびフォーカスを設定します。
   - **ズーム/フォーカス** : ズーム倍率および画像フォーカスを手動で調整します。
   - **One Shot AF** : 1クリックして、画像のフォーカスを合わせます。
4. 設定完了後、 [**適用 (** **)**]をクリックします。



- 次の場合、フォーカスが正しく合わない可能性があります。
  - ワンプッシュフォーカスモードでの被写体の急な変化（突然の移動、出現または消滅）
  - ワンプッシュフォーカスモードでの輝度の大幅な変化
  - コントラストが弱い画像
  - カメラの前面または周囲が強い光源にさらされている場合
  - レンズが不純物に覆われている場合
  - ワンプッシュフォーカスがほとんど適用されない状況では、コントラストの強い被写体を記録するか、MFモードを使用してください。
  - 上記以外の状況でフォーカスが合わない場合は [-100, -10, -1] または [+1, +10, +100] ボタンを使用して手動でフォーカスを合わせます。

設定画面

ネットワーク設定

インターフェース



1. 設定メニューから、<**ネットワーク** ( )>タブを選択します。
2. <**インターフェース**>をクリックします。
3. <**インターフェース**>および<**IPv6 設定**>を必要に応じて設定します。
   - IPタイプ : IP接続タイプを選択します。
     - マニュアル : IPアドレス、Subnet Mask、GATEWAY、DNS1、およびDNS2を指定します。
     - DHCP : DNS1およびDNS2を指定します。
     - PPPoE : DNS1、DNS2、ID、およびパスワードを指定します。
     - <**マニュアル**>に設定した場合は、IP、Subnet Mask、GATEWAY、DNS1、およびDNS2をマニュアルで設定します。
   - MACアドレス : MACアドレスを表示します。
   - IPアドレス : 現在のIPアドレスを表示します。
   - Subnet Mask : 設定したIPの<**Subnet Mask**>を表示します。
   - GATEWAY : 設定したIPの<**GATEWAY**>を表示します。
   - DNS1/DNS2 : DNS（ドメインネームサービス）サーバーのアドレスを表示します。
   - IPv6 使用 : IPv6を使用するかどうかを指定します。
   - デフォルトのIPv6アドレス : IPv6ネットワークにアクセスするためのIPv6アドレスを取得します。
     - デフォルトのアドレスのみ使用 : デフォルトのIPv6アドレスのみを使用します。
     - DHCPによるIPアドレスの取得 : DHCPサーバーから取得したIPv6アドレスを表示して使用します。
     - 次のIPアドレスを使用 : IPアドレスを手動で入力して使用します。

   ▪ 3つのアドレスのタイプから1つのみを選択します。

4. 設定完了後、[**適用** ( )]をクリックします。

▪ IPアドレス設定システムによってデフォルトでDHCPに設定されます。 DHCPサーバーが検出されると、以前の設定が自動的に復元されます。

ポート



1. 設定メニューから、<**ネットワーク** ( )> タブを選択します。
2. <**ポート**>をクリックします。
3. ポートメニューの各項目を必要に応じて設定します。
   - 0から1023のポート範囲、およびポート3702は使用できません。
   - HTTPポート: Webブラウザ経由でカメラにアクセスする際に使用されるHTTPポートです。
     初期値は80（TCP)です。
   - VNPポート : Samsungプロトコルで映像信号を伝送する際に使用するポートを設定します。
   - RTSPポート : 映像をRTSPモードで伝送する際に使用します。初期値は554です。
   - Viewerポート : 映像をWebビューアに伝送する際に使用します。初期値は4520です。
   - Silverlight policy ポート : Silverlightを使用してネットワーク接続の確立を許可します。デフォルトは943です。
     - ビューアのポート範囲は4502から4534です。VNPポートがこの有効範囲内にある場合は、ビューアのポートもVNPポートと同じ値に指定します。
     - カメラのビューワー/Sliverlightのポリシーサーバーポートを変更することはできません。
4. 設定完了後、[**適用** ( )]をクリックします。

DDNS

DDNSはDynamic Domain Name Serviceの略語であり、カメラのIPアドレスをユーザーが覚えやすい一般的なホスト名に変換します。



1. 設定メニューから、<**ネットワーク** ( )>タブを選択します。
2. <**DDNS**>をクリックします。
3. <**DDNS**>を選択します。
4. 選択したタイプに応じてDDNS項目を入力します。
   - Samsung DDNS : Samsung Techwin提供のDDNSサーバーを使用する場合はこれを選択します。

- Public DDNS : 公開DDNSサーバーを使用する場合は、提供されている公開DDNSサーバーのいずれかを選択します。
  - ホスト名 : DDNSサーバーで登録されるホスト名（Dyndnsのホスト名）を入力します。
  - ユーザー名 : DDNSサービスのユーザー名を入力します。（Dyndnsで登録されるユーザーID）
  - Password : DDNSサービスのパスワードを入力します。（Dyndnsで登録されるパスワード）

5. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

DDNSによる登録

Samsung DDNSを使用して製品登録を行うには

1. iPOLiSのWebサイト（www.samsungipolis.com）で、登録されたアカウントを使用してサインインします。



2. 上部のメニューバーで、<**DDNS SERVICE**>-<**MY DDNS**>を選択します。



3. [**PRODUCT REGISTRATION**]をクリックします。
4. 製品のドメインを入力します。
   - 入力するドメインについては重複チェックを実行する必要があります。



5. <**CLASSIFICATION**>を選択して、<**MODEL NUMBER**>を指定します。
6. 必要に応じて、製品の場所および説明を指定します。
7. [**REGISTRATION**]をクリックします。製品が製品リストに追加され、チェック可能になります。



カメラ設定でSamsung DDNSに接続するには

1. DDNS設定ページで、<**DDNS**>を<**Samsung DDNS**>に設定します。
2. DDNSサイトで登録する<**ホスト名**>を指定します。
3. [**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。正常に接続されると、<**(成功)**>メッセージが画面に表示されます。



カメラ設定における公開DDNSの設定

1. DDNS設定のページを開き、<**DDNS**>として<**Public DDNS**>を選択します。
2. 対応するサイトのホスト名、ユーザー名およびパスワードを入力します。
3. [**適用 (** ✓ **)**]ボタンをクリックします。接続が正しく確立した場合には、<**(成功)**>が表示されます。
4. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

設定画面

IPフィルターリング

アクセスを許可または拒否するIPのリストを作成することができます。



1. 設定メニューから、<**ネットワーク ( )**>タブを選択します。
2. <**IPフィルターリング**>をクリックします。
3. <**フィルターリング形式**>を選択します。
   - 拒否 : これを選択すると、フィルターリングに追加されるIPからのアクセスは制限されます。
   - 許可 : これを選択すると、フィルターリングに追加されるIPからのアクセスは許可されます。
4. アクセスを許可または拒否するIPを指定します。
   IPv4の場合、デフォルトIPアドレスは0.0.0.0、デフォルトプレフィックスは32です。
5. 入力されたIPアドレスから、許可または拒否するIPアドレスを選択します。
   選択したIPのみがフィルタされます。
6. 設定完了後、[**適用 ( )**]をクリックします。

SSL

この目的で、保安接続方式の選択または公認証設定が可能です。



1. 設定メニューから、<**ネットワーク ( )**>タブを選択します。
2. <**SSL**>をクリックします。
3. 保安接続方式を選択します。
   - HTTPSモードを使用してカメラにアクセスするには、カメラのIPアドレスを"https://<Camera_IP>"の形式で入力する必要があります。
4. カメラに設定する公認証を検索します。
   カメラに公認証をインストールするには、認証書名（ユーザーが任意に割り当てることができる）、認証局から発行された認証書ファイルおよびキーファイルを入力します。
   - <**HTTPS (公認保安接続モード)**>項目は、公認証が設定されている場合にのみ使用できます。
5. 設定完了後、[**適用 ( )**]をクリックします。

証明書のインストール

1. 証明書の名前を入力します。
2. インストールする証明書ファイルと証明書キーを選択して[**設置(** 設置 **)**]ボタンをクリックします。

証明書の削除

1. [**削除(** 削除 **)**] ボタンをクリックします。

802.1x

ネットワークに接続する際に、802.1xプロトコルを使用するかどうかを選択し、証明書をインストールすることができます。



1. 設定メニューから、<**ネットワーク (** **)**>タブを選択します。
2. <**802.1x**>をクリックします。
3. <**IEEE 802.1x設定(EPS-TLSを使用したEAPOL)**>を設定します。
   - IEEE 802.1xの有効化 : 802.1xプロトコルの使用を指定します。
   - EAPOLのバージョン : バージョン1または2を選択します。
   - EAPOLのID : EAPOLのIDを入力します。
   - EAPOLのパスワード : EAPOLのパスワードを入力します。

■ 接続したネットワークデバイスが802.1xプロトコルをサポートしていない場合、プロトコルを設定しても正常に動作しません。

802.1x関連の証明書をインストール/削除するには

1. 各項目の [**検索 (** 検索 **)**]ボタンを押して、インストールする証明書を選択します。
2. 証明書がインストールされていない場合は、選択した項目の横に"使用不可"と表示されます。
3. [**設置 (** 設置 **)**]ボタンを押すとインストールが開始され、項目の横に"インストール**済**"というメッセージが表示されます。
4. 証明書を削除するには、[**削除 (** 削除 **)**] ボタンを押します。

設定画面

QoS

特定のIPについて優先度を指定して、安定した転送速度を確保することができます。



1. 設定メニューから、<**ネットワーク** ( )>タブを選択します。
2. <**QoS**>をクリックします。
3. IPアドレスを指定します。
   デフォルトプレフィックスは32です。
   DSCPの場合、デフォルトは63に設定されます。
4. QoSを適用するIPアドレスを選択します。
   選択したIPにのみ優先度が設定されます。
5. 設定完了後、[**適用** ( )]をクリックします。

SNMP

SNMPプロトコルを設定することができます。



1. 設定メニューから、<**ネットワーク** ( )>タブを選択します。
2. <**SNMP**>をクリックします。
3. <**SNMP**>を指定します。
   - SNMP v1の有効化 : SNMPバージョン1が有効になります。
   - SNMP v2cの有効化 : SNMPバージョン2が有効になります。
     - リードコミュニティ : オブジェクトにアクセス可能なSNMPプロトコルをサポートするリードコミュニティ。
     - ライトコミュニティ : オブジェクトにアクセス可能なSNMPプロトコルをサポートするライトコミュニティ。
   - SNMP v3の有効化 : SNMPバージョン3が有効になります。
     - Password : SNMPバージョン3のデフォルトパスワードを指定します。
4. 設定完了後、[**適用** ( )]をクリックします。

▪ SNMP v3はセキュア接続モードがHTTPSの場合にのみ設定できます。

イベント設定

FTP / E-mail

イベント発生時にカメラに保存された画像をPCに伝送できるように、FTP/E-mailサーバーを設定できます。



1. 設定メニューから、<**イベント ( )**>タブを選択します。
2. <**FTP / E-mail**>をクリックします。
3. <**FTP設定**>または<**E-mail設定**>を選択し、必要な値を入力/選択します。
   - FTP設定
     - サーバーアドレス : アラーム画像を伝送するFTPサーバーのIPアドレスを入力します。
     - ユーザーID : FTPサーバーにログインするユーザーIDを入力します。
     - Password : FTPサーバーにログインするユーザーアカウントのパスワードを入力します。
     - アップロードDirectory : アラーム画像を伝送するFTPパスを指定します。
     - ポート : FTPサーバーの初期ポートは21ですが、FTPサーバーの設定に応じて別のポート番号を使用できます。
     - パッシブ方式 : ファイアウォールまたはFTPサーバーの設定に応じてパッシブ方式で接続する必要がある場合は、<**On**>を選択します。
   - E-mail設定
     - SSL 使用 : SSLを使用するかどうかを指定します。
     - サーバーアドレス : 電子メールの伝送に使用する電子メールサーバーのIPアドレスを入力します。
       例) smtp. hotmail. com
     - 権限の使用 : 権限を使用するかどうかを選択します。
     - ユーザーID : 電子メールサーバーにログインするユーザーアカウントのパスワードを入力します。
     - Password : 電子メールサーバーにログインするユーザーアカウントのパスワードを入力します。
     - ポート : 電子メールサーバーの初期ポートは25ですが、電子メールサーバーの設定に応じて別のポート番号を使用できます。
     - 受信者 : 電子メール受信者のアドレスを入力します。

- 発信者 : 電子メール送信者のアドレスを入力します。 送信者のアドレスが正しくない場合、送信者からの電子メールは電子メールサーバーによってSPAMに分類され送信されない可能性があります。
- 題名 : 電子メールの題名を入力します。
- 内容 : メッセージのテキストを入力します。 作成している電子メールにアラーム画像を添付します。

4. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

SD録画

SDメモリへの録画条件、またはSDメモリへの録画を使用するかどうかを設定することができ、保存されたデータのサイズをチェックできます。またSDメモリ自体もフォーマットできます。

1. 設定メニューから、<**イベント(** 🔔 **)**>タブを選択します。
2. <**SD録画**>をクリックします。



SDメモリに録画を行うには

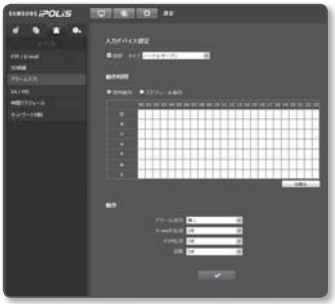
1. <**全体容量**>および<**使用可能容量**>をチェックします。
2. SDメモリに十分な使用可能容量がある場合は、<**録画**>を<**ON**>に設定します。
   使用可能容量が十分でない場合は、保存済のデータを確認し、そのデータが重要でない場合は<**フォーマット**>をクリックしてSDメモリをフォーマットします。
   - SDメモリカードへの書込みが遅い場合は、1秒あたり1フレームのみが保存されます。
   - 大容量のSDメモリカードの場合、容量に応じてフォーマットにも時間がかかります。
   - 時間の経過とともにデータサイズが大きくなると、録画品質をフルフレームに設定している場合でも、1fpsのみ保存が可能になります。
3. 録画条件を指定します。
   - 録画PROFILE : 録画するプロファイルの番号が表示されます。
   - 1 fps 強制録画 : 既存の録画プロファイルにかかわらず、1秒あたり1フレームのみ録画されます。
     - H.264の場合は、ビットレートが4800 kbps未満の場合にのみ有効となります。
     - MJPEGの場合は、解像度が800x600より小さい場合にのみ有効となります。
   - オーバーライト : SDメモリが満杯の場合に、古いデータを削除し、新しいデータを保存します。

- プリアラーム時間 : アラーム発生前の時間を指定します。この時間が経過すると画像が伝送されます。 アラーム発生前の最大5秒を指定することができます。
- ポストアラーム時間 : アラーム発生後の時間を指定します。この時間が経過するまで画像が伝送されます。 アラーム発生後の最大120秒を指定することができます。

4. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

アラーム入力

アラーム入力タイプ、動作時間、および動作モードを設定できます。



1. 設定メニューから、<**イベント(** 🔔 **)**>タブを選択します。
2. <**アラーム入力**>をクリックします。
3. 入力デバイスを指定します。
   - タイプ
     - ノーマルオープン : 通常はオープンされていますが、クローズされると、アラームがトリガーされます。
     - ノーマル閉じる : 通常はクローズされていますが、オープンされると、アラームがトリガーされます。
4. <**動作時間**>を指定します。
   - 常時動作 : アラームを発生させる場合はチェックします。
     アラーム発生時に、動作モードで有効化されます。
     - 常時動作に設定した場合は、動作時間を変更できません。
   - スケジュール動作 : 指定した期間内の指定した曜日に、アラームを発生させる場合にチェックします。 アラーム発生時に、動作モードで有効化されます。
   - [初期化] : すべての設定をリセットします。
5. アラーム発生時に実行する動作を指定します。
   - アラーム入力 : アラームを受信した場合にアラーム出力を設定するかどうかを選択し、アラーム出力時間を指定します。
   - E-mail 伝送 : アラーム入力設定で電子メール伝送を使用するかどうかを指定します。
   - FTP伝送 : アラーム入力設定でFTP転送を使用するかどうかを指定します。
   - 記録 : アラーム入力設定で録画を使用するかどうかを指定します。
6. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

VA / MD

1. 設定メニューから、<**イベント(** ■ **)**>タブを選択します。
2. <**VA / MD**>をクリックします。



❖ モーション検知（MD）

1. モーション検知モードを選択します。
2. モーション検知を使用するように指定します。
3. モーション検知の感度レベルを選択します。
   感度が高いほど、より細かなモーションを検知します。
4. ドラッグアンドドロップでビデオの検知領域を指定してください。
   - 最大4つのモーション検知領域を指定できます。
5. 動作時間および動作条件を指定します。
   - <**動作時間**>および<**動作**>の詳細は、"**アラーム入力**"を参照してください。(69ページ)
6. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

❖ インテリジェント映像分析（VA）



1. インテリジェント映像分析モードを選択します。
2. インテリジェント映像分析機能を使用するかどうかを設定します。
3. タイプを選択します。
   - 境界/エリア/画面変化 : 指定されたライン、エリアまたは全画面をオブジェクトが通過した場合、または進入/退出または画面変化があるとイベントが感知されます。
   - 出現/消滅 : 指定されたライン、エリアまたは全画面の中でオブジェクトが出現または消滅するとイベントが感知されます。
   - ■ 一度に有効化できるインテリジェント映像分析のタイプは1つです。
4. イベントルールを指定します。
   - 最小オブジェクトサイズ : 映像を認識する被写体の最小サイズを設定します。
   - 最大オブジェクトサイズ : 映像を認識する被写体の最大サイズを設定します。
   - Virtual line規定 : 仮想ラインを基準に映像を分析します。
   - 指定領域規定 : 指定領域を基準に映像を分析します。
   - 全体領域規定 : 全体領域を基準に映像を分析します。
5. 被写体のモーション検知感度を選択します。
   - ■ 被写体が背景から鮮明に識別できる環境では、感度を低く設定します。暗い場所などの場合は感度を高く設定します。
6. オーバーレイを使用するかどうかを設定します。
   - <**使用**>に設定している場合は、イベント規定が画面に表示されます。
7. モーション検知で該当する範囲をマークするかどうかを選択します。
   - <**ON**>を選択すると、検知した動く被写体が画面上にボックスでマークされます。非イベント被写体の場合は緑、ライン/領域イベント被写体の場合は赤、出現/消失イベント被写体の場合は青など、被写体は色でマークされます。
8. 動作時間および動作条件を指定します。
   - ■ <**動作時間**>および<**動作**>の詳細は、"**アラーム入力**"を参照してください。(69ページ)
9. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

設定画面

- モーション検知とインテリジェント映像分析は同時には使用できません。
- ライン/領域/シーンのイベント被写体タイプの変更は、出現/消失とは同時に適用できません。
- 検知する被写体に適した最大および最小検知サイズを設定します。
- 被写体の検知サイズは、その形状によっては実際のサイズと異なる場合があります。
- 表示可能な被写体の数は、画面の上部から16までです。
- カメラが被写体を近くで捉えた場合、映像分析機能が低下する場合があります。 次の場合、映像分析機能は、デフォルトのイベントやモーション検知に対しては適切な効果がないことがあります。
  - 被写体の色や輝度が背景と似ている場合。
  - シーンの変更やその他の理由により、複数の動きがランダムに発生し続ける場合。
  - 一定の被写体が同じ方向に動き続ける場合。
  - 被写体が他の被写体の背後に隠れている場合。
  - 複数の被写体が重なり合っているか、1つの被写体が複数の部分に分割される場合。
  - 被写体が高速で動いている場合（正常に検知するには、近接するフレーム間で重なり合っている特定の被写体を見つける必要があります）。
  - 直射日光、照明、またはヘッドランプなどの強い光による反射/ぼやけ/影。
  - 激しい雪、雨、風または夜明け/夕暮れどき。
  - 動いている被写体がカメラに近づいてくる場合。
- CGIタイプで接続すると、モーション検知イベントのみが転送され、インテリジェント映像分析イベントは除外されます。

❖ **境界/エリア/画面変化**

最小オブジェクトサイズの設定方法



1. <**インテリジェント映像分析機能**>を<**使用**>に設定します。
2. タイプを<**境界/エリア/画面変化**>に設定します。
3. イベントルールを<**最小オブジェクトサイズ**>に設定します。
4. 映像を目的のポイントまでドラッグ&ドロップします。
   最小オブジェクトサイズは青いエリア（ドラッグされたエリア）に適用されます。
   - 指定した最小サイズより小さい被写体は検知されません。
5. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

最大オブジェクトサイズの設定方法



1. <**インテリジェント映像分析機能**>を<**使用**>に設定します。
2. タイプを<**境界/エリア/画面変化**>に設定します。
3. イベントルールを<**最大オブジェクトサイズ**>に設定します。
4. 映像を目的のポイントまでドラッグ&ドロップします。
   最小オブジェクトサイズは赤いエリア（ドラッグされたエリア）に適用されます。
   - 指定した最小サイズより小さい被写体は検知されません。
5. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

設定画面

Virtual line規定の設定方法



1. <**インテリジェント映像分析機能**>を<**使用**>に設定します。
2. タイプを<**境界/エリア/画面変化**>に設定します。
   - Virtual line規定を指定できるのは、インテリジェント映像分析タイプが<**境界/エリア/画面変化**>に設定されている場合に限られます。
3. イベント規定を<**Virtual line規定**>に設定します。
4. 画面上のラインの開始ポイントと終了ポイントの両方をクリックして、ポップアップダイアログを表示します。
5. 必要な<**Virtual line規定**>を選択します。
   - 右 : Virtual line上の左から右への移動が検知されます。
   - 左 : Virtual line上の右から左への移動が検知されます。
   - 両方 : Virtual line上の両方向の移動が検知されます。
   - Virtual line規定および指定領域規定には、イベント規定を3つまで定義できます。
6. [**OK**]をクリックします。
   既存のラインをキャンセルするには、ラインを右クリックしてポップアップダイアログを表示し、コンテキストメニューで[**削除**]を選択します。
7. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

指定領域規定の設定方法



1. <**インテリジェント映像分析機能**>を<**使用**>に設定します。
2. タイプを<**境界/エリア/画面変化**>に設定します。
3. イベント規定を<**指定領域規定**>に設定します。
4. 映像内の目的の領域の角をクリックして、}ポップアップウィンドウを表示します。

5. 必要な<**指定領域規定**>を選択します。
   - 入る : このイベント規定により、被写体の中心点が領域の境界を超え、定義済の領域に入るイベントが検知されます。
   - 出る : このイベント規定により、被写体の中心点が領域の境界を超え、定義済の領域から出るイベントが検知されます。
   - Virtual line規定および指定領域規定には、イベント規定を3つまで定義できます。
6. [**OK**]をクリックします。
   既存の領域をキャンセルするには、領域を右クリックしてポップアップダイアログを表示し、コンテキストメニューで[**削除**]を選択します。
7. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

全体領域規定の設定方法



1. <**インテリジェント映像分析機能**>を<**使用**>に設定します。
2. タイプを<**境界/エリア/画面変化**>に設定します。
3. イベント規定を< **全体領域規定** >に設定すると、ポップアップウィンドウが表示されます。
4. 必要な<**全体領域規定**>を選択します。
   - 画面変化 : 一定期間経過時の画面変化が検知されます。
     - シーン変更は、実際の変更からしばらくたってから検知される場合があります。
     - 安定性を高めるため、シーン変更のイベント発生時に、操作が短時間停止し、その間、（シーン変更を含む）その他のイベントの検知は機能しません。
     - 背景が単調な場合や夜間、または光源状態が低い場合は検知のパフォーマンスが低下することがあります。
5. [**OK**]をクリックします。
   既存の領域をキャンセルするには、領域を右クリックしてポップアップダイアログを表示し、コンテキストメニューで[**削除**]を選択します。
6. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

設定画面

❖ **出現/消滅**

最小オブジェクトサイズの設定方法



1. <**インテリジェント映像分析機能**>を<**使用**>に設定します。
2. タイプを<**出現/消滅**>に設定します。
3. イベントルールを<**最小オブジェクトサイズ**>に設定します。
4. 映像を目的のポイントまでドラッグ&ドロップします。
   最小オブジェクトサイズは青いエリア（ドラッグされたエリア）に適用されます。
   - 指定した最小サイズより小さい被写体は検知されません。
5. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

最小オブジェクトサイズの設定方法



1. <**インテリジェント映像分析機能**>を<**使用**>に設定します。
2. タイプを<**出現/消滅**>に設定します。
3. イベントルールを<**最大オブジェクトサイズ**>に設定します。
4. 映像を目的のポイントまでドラッグ&ドロップします。
   最小オブジェクトサイズは赤いエリア（ドラッグされたエリア）に適用されます。
   - 指定した最小サイズより小さい被写体は検知されません。
5. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

指定領域規定の設定方法



1. <**インテリジェント映像分析機能**>を<**使用**>に設定します。
2. タイプを<**出現/消滅**>に設定します。
3. イベント規定を<**指定領域規定**>に設定します。
4. 映像内の目的の領域の角をクリックして、}ポップアップウィンドウを表示します。
5. 必要な<**指定領域規定**>を選択します。
   - 出現/消滅 : 境界を通過せずに定義済の領域に出現し、一定時間そこに留まっている被写体、あるいはその領域から消失した被写体を検知します。
6. [**OK**]をクリックします。
   既存の領域をキャンセルするには、領域を右クリックしてポップアップダイアログを表示し、コンテキストメニューで[**削除**]を選択します。
7. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

全体領域規定の設定方法

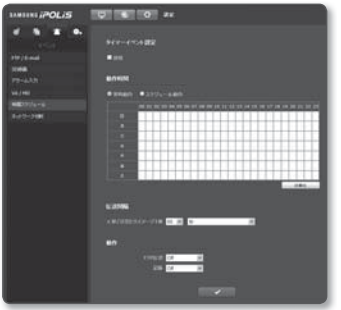


1. <**インテリジェント映像分析機能**>を<**使用**>に設定します。
2. タイプを<**出現/消滅**>に設定します。
3. イベント規定を< **全体領域規定** >に設定すると、ポップアップウィンドウが表示されます。
4. 必要な<**全体領域規定**>を選択します。
   - 出現/消滅： シーンに出現し、一定時間そこに留まっている被写体、あるいはそのシーンから消失した被写体を検知します。
5. [**OK**]をクリックします。
   既存の領域をキャンセルするには、領域を右クリックしてポップアップダイアログを表示し、コンテキストメニューで[**削除**]を選択します。
6. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

設定画面

時間スケジュール

イベントが実際に発生するかどうかにかかわらず、スケジュールした時間にイベントが発生するように設定できます。



1. 設定メニューから、<**イベント(**)>タブを選択します。
2. <**時間スケジュール**>をクリックします。

タイマーイベントを設定するには

1. <**タイマーイベント設定**>を<**使用**>に設定します。
2. <**動作時間**>を指定します。
   - 常時動作 : 設定された間隔で、動作モードで有効化されます。
   - スケジュール動作 : 指定された時刻および日付に、定期的に動作モードで有効化されます。
3. <**伝送間隔**>を指定します。
4. 動作条件を指定します。
   - FTP伝送 : イベント発生時にFTP伝送を使用するかどうかを指定します。
   - 記録 : イベント発生時に録画を使用するかどうかを指定します。
5. 設定完了後、[**適用 (**)]をクリックします。

ネットワーク切断

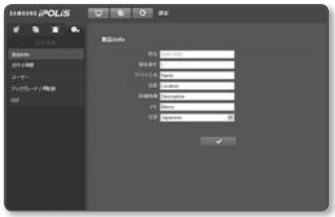
ネットワークの物理的切断というイベントを受信した後で保存/リレー/プリセット操作を実行することができます。



1. 設定メニューから、<**イベント(**)>タブを選択します。
2. <**ネットワーク切断**>をクリックします。
3. "ネットワーク切断"を使用するかどうかを指定します。
4. 動作時間および動作条件を指定します。
   - <**動作時間**>および<**動作**>の詳細は、"**アラーム入力**"を参照してください。(69ページ)
5. 設定完了後、[**適用 (**)]をクリックします。

システム設定

製品Info



1. 設定メニューから、<**システム(**)> タブを選択します。
2. <**製品Info**>をクリックします。
3. カメラの情報をチェックするか、またはネットワーク環境に応じて詳細を指定します。
   - デバイス名 : ライブ画面に表示されるデバイス名を指定します。
   - 位置 : カメラが設置される位置を指定します。
   - 詳細情報 : カメラの位置に関する詳細情報を指定します。
   - メモ : よりわかりやすくするため、カメラについての説明を入力します。
   - 言語 : Web Viewer のOSDで使用する言語を選択します。
4. 設定完了後、[**適用 (**)]をクリックします。

■ 製品関連情報は英語でのみ入力できます。

日付＆時間



1. 設定メニューから、<**システム (**)> タブを選択します。
2. <**日付＆時間**>をクリックします。
3. カメラに適用される時間および日付を指定します。
   - システム時間 : システムの現在の時間設定を表示します。
   - タイムゾーン : GMTを基準にしたローカルタイムゾーンを指定します。
   - SUMMER TIME : これをチェックすると、指定された期間内の時間がローカルタイムゾーンよりも1時間早く設定されます。
     このオプションはDSTが適用される地域でのみ表示されます。

- システム時間設定 : システムに適用される時間および日付を指定します。
  - マニュアル : 時間をマニュアルで指定します。
  - NTPサーバーと同期化 : 指定されたサーバーアドレスの時間と同期を取ります。
  - PC viewerと同期化 : 接続されたPCの時間と同期を取ります。

4. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

▪ カメラの時刻設定とPCの時刻設定が異なる場合、<**PC viewerと同期化**>を選択しても設定は異なったままになります。 そのため、カメラとPCの両方に同じ時刻設定を指定することをお勧めします。

ユーザー

1. 設定メニューから、<**システム (** ⚙ **)**>タブを選択します。
2. <**ユーザー**>をクリックします。
3. 必要なユーザー情報を指定します。



- Admin Password変更 : 管理者のパスワードを変更します。
  - ▪ デフォルトのパスワードは、ハッキングスレッドにさらされる恐れがあるため、製品インストール後に変更することをお勧めします。
    パスワードを変更しなかったことにより、セキュリティ関連の問題が起こった場合は、ユーザーの責任となります。
- ゲスト設定 : <**ゲストアクセス**>が許可されている場合、ユーザーはゲストアカウントでWeb Viewerにアクセスできますが、表示されるのはLive Viewer画面のみです。
  - ▪ ゲストアカウントのID/パスワードはguest/guestで、変更できません。
- 現在ユーザー : <**使用**>に設定されているユーザーのユーザー情報を変更し、権限レベルを調整できます。
  - ビデオ : Live viewer画面でビデオprofileを選択できます。
  - 音声入力 : Live Viewer画面での音声入力が有効になります。
  - 制御 : MICおよびアラームボタンを制御することができます。

4. 設定完了後、[**適用 (** ✓ **)**]をクリックします。

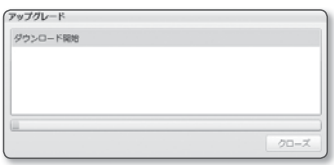
アップグレード / 再駆動



1. 設定メニューから、<**システム (** **)**> タブを選択します。
2. <**アップグレード / 再駆動**>をクリックします。
3. 必要な項目を選択し、適切に設定します。
   - アップグレード : システムのアップグレードを実行します。
   - 出荷条件初期化 : システムを出荷時の初期状態にリセットします。
     - ネットワーク設定除去 : インターフェース、ポート、DDNS、IPフィルターリング、SSL、802.1x、QoS、SNMP設定を除いて、設定をすべてリセットします。
     - 全体 : カメラ設定を含むすべての設定をリセットします。 （ただし、ログ情報はリセットされません）
       - カメラをリセットすると、IPアドレス設定システムによってデフォルトでDHCPに設定されます。DHCPサーバーが検出されると、以前の設定が自動的に復元されます。
   - 設定バックアップ＆リストア : リストアプロセス実行前に現在のシステム設定をバックアップします。 バックアップまたは復元後にシステムは自動的に再起動されます。
   - リスタート : システムを再起動します。

アップグレードを実行するには





1. [**アップグレード**]をクリックします。
2. [**検索**]をクリックし、アップグレード対象のファイルを指定します。
3. [**伝送**]をクリックします。
4. "**アップグレード**"ダイアログが表示され、進捗状況が下部に表示されます。

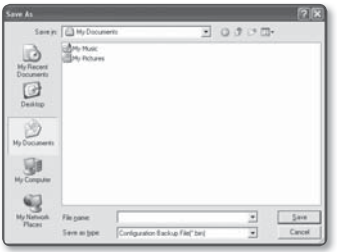


- アップグレードプロセスを強制終了すると、アップグレードは正常に完了しません。

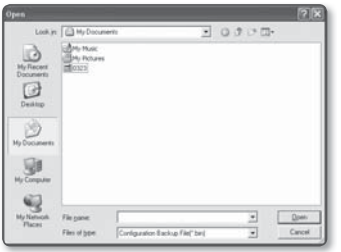
設定画面

現在の設定を保存し、バックアップ設定をリストアするには

1. [**バックアップ**]をクリックします。
   名前を付けて保存ダイアログが表示されます。
2. バックアップパスおよび適切なファイル名を指定し、[**Save**]をクリックします。
   バックアップファイルが指定したパスに".**bin**"形式で保存されます。
3. バックアップ設定をリストアするには、[**リストア**]をクリックします。



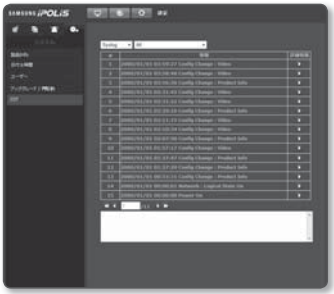
4. バックアップファイルを選択して[**Open**]をクリックします。



- バックアップまたは復元を行うと、Webブラウザが閉じてカメラが再起動します。

ログ

システムログまたはイベントログをチェックできます。



1. 設定メニューから、<**システム(** ⚙ **)**>タブを選択します。
2. <**ログ**>をクリックします。
3. ログタイプを選択します。
   - Syslog : 時間情報など、システム上のすべての変更が記録されるシステムログをチェックできます。
   - Evtlog : 時間情報などのイベントログをチェックできます。
4. 対応するログリストから検索するアイテムを選択します。
   - 左上のドロップダウンリストで<**All**>を選択すると、対応するログタイプのすべてのログが表示されます。
5. 1ページでは利用可能なすべてのログを表示できない場合は、下部のボタンを使用して前のアイテム、次のアイテム、または最後のアイテムに移動します。

- ログの詳細を表示する場合は、ログの右列にある[**詳細情報 (** ▶ **)**] をクリックします。ログ情報が下部のウィンドウ枠に表示されます。
- 各ページには15のログが表示され、最新のログが上部に表示されます。
- イベント/システムログには最大1000のログを含むことができます。1000を超えると、新しいログが作成されるたびに、既存のログは古いものから削除されます

付録

仕様

項目		説明	
		SND-7080	SND-7080F
映像	撮像素子	1/2.8インチ3M PS CMOS	
	合計画素数	2,144(H) X 1,588(V)	
	有効画素数	2,096(H) X 1,561(V)	
	走査システム	プログレッシブ	
	最低照度	カラー : 1ルックス(F1.2, 50IRE)、 0.017ルックス(感度アップ60X) 白黒 : 0.08ルックス(F1.2, 50IRE)、 0.001ルックス(感度アップ60X)	
	S/N比	50dB	
	ビデオ出力	CVBS : 1.0Vp-p/75Ωコンポジット、704x480(N)、704x576(P)、インストール用	
レンズ	焦点距離(ズーム倍率)	3~8.5mm(2.8倍)電動バリフォーカル	
	最大口径比	F1.2	
	画角	H : 100°(広角) ~ 35.3°(望遠) V : 74.6°(広角) ~ 26°(望遠)	
	最短被写体距離	0.5m	
	焦点制御	ネットワーク経由のリモート制御(手動、ワンショットAF)	
	レンズタイプ	DC自動絞り	
	マウントタイプ	ボードインタイプ	
パンニング/チルト/回転	パンニング範囲	0°~ 355°	
	パンニング速度	-	
	チルト範囲	0°~ 90°	
	チルト速度	-	
	回転範囲	0°~ 355°	
	プリセット	-	
	プリセット精度	-	
	自動トラッキング	-	

項目		説明	
		SND-7080	SND-7080F
操作関係	カメラタイトル	オン/オフ(最大15文字表示)	
	昼/夜	自動(ICR)/カラー/白黒/外部 白黒	
	逆光補正	オフ/BLC/HLC	
	ワイドダイナミックレンジ	オフ/オン(フルHDWDR)	
	コントラスト強調	SSDR(Samsung Super Dynamic Range) (オフ/オン)	
	デジタルノイズリダクション	SSNRIII(2D+3Dノイズフィルタ) (オフ/オン)	
	デジタル手ブレ補正	-	
	モーション検知	オフ/オン(4のプログラム可能ゾーン)	
	プライバシーマスク	オフ/オン(1個の4ポイント多角形+16個の矩形ゾーン)	
	感度アップ(フレームインテグレーション)	オフ/自動(2X~60X)	
	利得調整	オフ/低/中/高	
	ホワイトバランス	ATW/AWC/手動/屋内/屋外	
	電子シャッター速度	自動/A.FLK/手動(1/30~30,000秒)	
	デジタルズーム	-	
	フリップ/ミラー	オフ/オン	
	インテリジェント映像分析	-	
	アラーム入出力	入力1個/出力1個(リレー)	
	リモコンインタフェース	-	
	RS-485プロトコル	-	

付録

項目		説明	
		SND-7080	SND-7080F
ネットワーク	イーサネット	RJ-45 (10/100BASE-T)	
	ビデオ圧縮フォーマット	H.264, MJPEG	
	解像度	<2M モード> 1920x1080P(フルHD), 1280x1024, 1280x960, 1280x720P(HD), 1024x768, 800x600, 800x450, 640x480, 640x360, 320x240, 320x180 <3M モード> 2048x1536, 1920x1080P(フルHD), 1600x1200, 1280x1024, 1280x960, 1280x720P(HD), 1024x768, 800x600, 800x450, 640x480, 640x360, 320x240, 320x180	
	最大フレームレート	<2M モード> * H.264 : 全解像度で最大30fps (WDRがオンの場合に、最大フレームレートは最大15fps。) * MJPEG : 800x600 ~ 320x180 - 30 fps 1280x1024 ~ 1920x1080 - 15 fps <3M モード> * H.264 : 全解像度で最大20fps * MJPEG : 800x600 ~ 320x180 - 20 fps 1280x1024 ~ 1920x1080 - 15 fps 2048x1536 - 10 fps	
	スマートコーデック	あり(領域ベース法、顔検出法)	
	ビデオ品質調整	H.264 : 圧縮レベル、 ターゲットビットレートレベル制御 MJPEG : 品質レベル制御	

項目		説明	
		SND-7080	SND-7080F
ネットワーク	ビットレート制御方式	H.264 : CBR または VBR MJPEG : VBR	
	ストリーミング機能	マルチストリーミング(最大6プロファイル)	
	音声入出力	マイク / ライン入力、ライン出力	
	音声圧縮フォーマット	G.711 μ-law	
	音声通信	2方向	
	IP	IPv4, IPv6	
	プロトコル	TCP/IP、UDP/IP、RTP(UDP)、RTP(TCP)、RTSP、NTP、HTTP、HTTPS、SSL、DHCP、PPPoE、FTP、SMTP、ICMP、IGMP、SNMPv1/v2c/v3(MIB-2)、ARP、DNS、DDNS	
	セキュリティ	HTTPS(SSL)ログイン認証 ダイジェストログイン認証 IPアドレスフィルタリング ユーザーアクセスログ 802.1X認証方式	
	ストリーミング方式	ユニキャスト/マルチキャスト	
	最大ユーザーアクセス	ユニキャストモードでは10ユーザー	
	メモリスロット	SD/SDHCメモリスロット	
	ONVIF準拠	はい	
	言語	英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語 中国語、韓国語、ロシア語、日本語、スウェーデン語、 デンマーク語、ポルトガル語、チェコ語、ポーランド語、 トルコ語、ルーマニア語、セルビア語、オランダ語、 クロアチア語、ハンガリー語、ギリシャ語	
	Webページの言語	対応OS : Windows XP / VISTA / 7, MAC OS 対応ブラウザ : Internet Explorer 7.0 以上、 Firefox、Chrome、Safari	
	集中管理ソフトウェア	NET-i viewer	

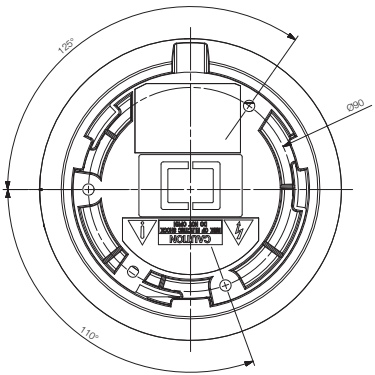
付録

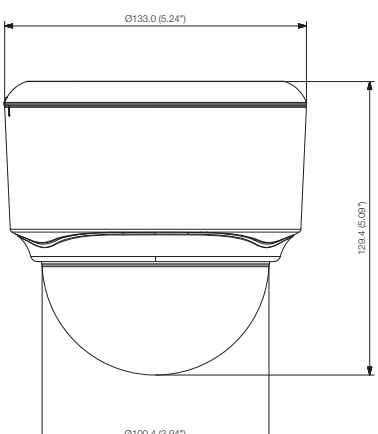
項目		説明	
		SND-7080	SND-7080F
環境関係	動作温度/湿度	-10℃~+50℃(+14°F~+122°F) / 20% ~80% RH	
	保護等級	-	
電気関係	入力電圧	12V DC, 24V AC, PoE(IEEE802.3af)	
	消費電力	最大6W(DC 12V)、最大7W(AC 24V、PoE(DC 48V))	
メカニカル	色/材質	本体 : アイボリー / プラスチック	
	寸法(ØxH)	Ø133.0 x H129.4 mm (Ø5.24"x H5.09")	Ø159.9 x H125.0 mm (Ø6.30"x H4.92") (埋込み型)
	重量	700g	800g

製品ビュー

❖ SND-7080

単位: mm(インチ)

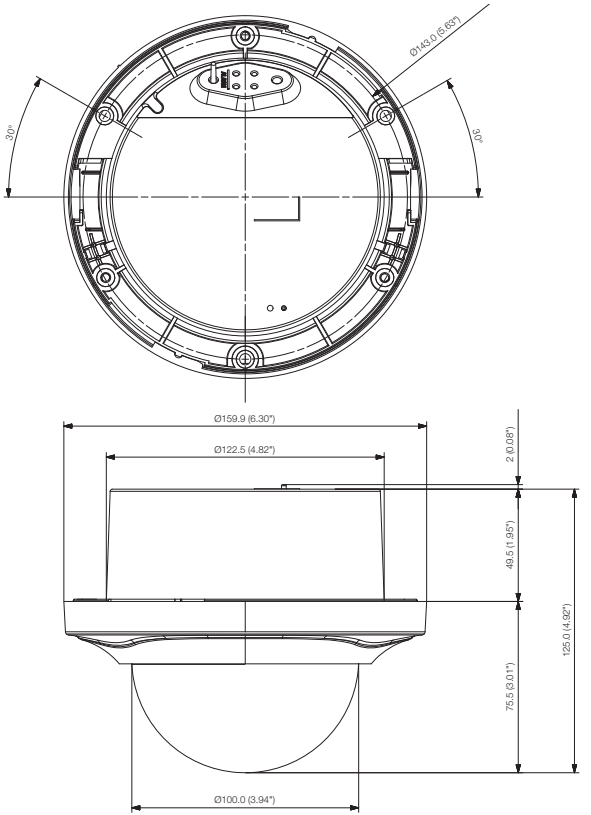




付録

❖ **SND-7080F**

単位: mm(インチ)



トラブルシューティング

問題	解決策
ウェブブラウザからカメラにアクセスできない。	• カメラのネットワーク設定が適切か確認します。 • ネットワークケーブルがすべてきちんと接続されているか確認します。 • DHCP を使用して接続した場合、カメラが問題なく動的 IPアドレスを取得できたか確認します。 • DDNS URL を使用して接続し場合には、MAC アドレスを正確に入力したか確認します。 • カメラがブロードバンドルーターに接続している場合、ポート転送がきちんと 設定されているか確認します。
閲覧中にビューアが遮断された。	• カメラまたはネットワーク設定に変更が生じた場合、接続済みビューアは遮断されます。 • ネットワーク接続をすべて確認します。 • カメラが PPPoE 上で接続している場合、ネットワーク環境の不具合が原因でビューアが遮断された可能性があります。
Internet Explorer 7.0 のタブブラウザを使用してシステムに接続することができない。	• タブブラウザを使用してシステムに接続しようとすると、同じクッキー情報が共用されるので、接続時にエラーが発生します。したがって、タブブラウザを使用せずに、新たにブラウザウィンドウを開いてシステムに接続してください。
ネットワークに接続しているカメラが IP インストーラプログラムを検知しない。	• 使用中の PC のファイアウォールを無効にし、カメラを再検索してください。
画像がオーバーラップする。	• 複数のカメラが個々のアドレスではなく、単一のマルチキャストアドレスに設定されているか確認します。複数のカメラが単一アドレスを使用すると、画像がオーバーラップする原因になります。
画像が表示されない。	• 送信方法がマルチキャストに設定されている場合、カメラが接続しているLAN にマルチキャストに対応しているルータがあるか確認します。
SDメモリカードに録画できません。	• メモリカードに問題がないか確認してください。 • メモリカードの書き込み保護タブが"LOCK"に設定されていないか確認してください。

問題	解決策
SDメモリカードを挿入しても、カメラが認識しません。	• メモリカードが正しい方向で挿入されているかを確認してください。他のデバイスで初期化されたメモリカードの場合は、このカメラ装置で正常に動作しない可能性があります。 • メモリカードを<設定> ➙ <イベント> ➙ <SD録画>メニューで再度初期化してください。
SDメモリカードを初期化できません。	• メモリカードの書き込み保護タブが"LOCK"に設定されていないか確認してください。

OPEN SOURCE ANNOUNCEMENT

Some software components of this product incorporate source code covered under the BSD license as follows.

Component Name	License	License URL
lighttpd 1.4.25	BSD 2.0	http://www.opensource.org/licenses/bsd-license.html
librtp 1.20	BSD 1.0	

lighttpd is a secure, fast, compliant, and very flexible web-server that has been optimized for high-performance environments. It has a very low memory footprint compared to other webservers and takes care of cpu-load. Its advanced feature-set (FastCGI, CGI, Auth, Output-Compression, URL-Rewriting and many more) make lighttpd the perfect webserver-software for every server that suffers load problems.

For more additional information, send email to help.cctv@samsung.com.

Copyright (C) 2004, Kneschke, incremental

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met :

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the 'incremental' nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1998-2001 University College London

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, is permitted provided that the following conditions are met :

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the Computer Science Department at University College London.
4. Neither the name of the University nor of the Department may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHORS AND CONTRIBUTORS ¨AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSEARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

GPL/LGPL SOFTWARE LICENSE

The software included in this product contains copyrighted software that is licensed under the GPL/LGPL. You may obtain the complete Corresponding Source code from us for a period of three years after our last shipment of this product by sending email to help.cctv@samsung.com

If you want to obtain the complete Corresponding Source code in the physical medium such as CD-ROM, the cost of physically performing source distribution might be charged.

- GPL S/W
  - Base Kernel, Busybox, Sysvinit, dosfstools
- LGPL S/W
  - gLibc, Inetutils

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991
Copyright (C)1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street,Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software-- to make sure the software is free for all its users.

This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price.

Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs ; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have.

You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps :

(1)copyright the software, and (2)offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the

original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

Version 2, June 1991 Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin S

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License.
   The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law : that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License ; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty ; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.
   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions :

   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

   c) If the modified program normally reads commands interactively when run,you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception:if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work

based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you ; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program. In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program)on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2)in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following :

   a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange ; or,

   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machinereadable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange ; or,

   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form)with the major components (compiler, kernel, and so on)of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License.

However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License.Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise)that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances. It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system ; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice. This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries,so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies

a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation,write to the Free Software Foundation ; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "ASIS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAMPROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty ; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does.

Copyright (C)yyyy name of author

This program is free software ; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation ; either version 2 of the License, or (at your option)any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY

WARRANTY ; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program ; if not, write to the Free Software Foundation, Inc.,51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail. If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode :

Gnomovision version 69,

Copyright (C) year name of author

Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO

WARRANTY ; for details type ‘show w’. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions ; type ‘show c’ for details.

The hypothetical commands ‘show w’ and ‘show c’ should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than ‘show w’ and ‘show c’ ; they could even be mouse-clicks or menu items-- whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer)or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program,if necessary. Here is a sample ; alter the names:

Yoyodyne, Inc.,hereby disclaims all copyright interest in the program ‘ Gnomovision’ (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the **GNU Lesser General Public License** instead of this License.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 3, 29 June 2007

Copyright © 2007 Free Software Foundation, Inc. <http://fsf.org/>

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The GNU General Public License is a free, copyleft

license for software and other kinds of works. The licenses for most software and other practical works are designed to take away your freedom to share and change the works. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change all versions of a program--to make sure it remains free software for all its users. We, the Free Software Foundation, use the GNU General Public License for most of our software; it applies also to any other work released this way by its authors. You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for them if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs, and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to prevent others from denying you these rights

or asking you to surrender the rights. Therefore, you have certain responsibilities if you distribute copies of the software, or if you modify it: responsibilities to respect the freedom of others.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must pass on to the recipients the same freedoms that you received. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

Developers that use the GNU GPL protect your rights with two steps: (1) assert copyright on the software, and (2) offer you this License giving you legal permission to copy, distribute and/or modify it.

For the developers' and authors' protection, the GPL clearly explains that there is no warranty for this free software. For both users' and authors' sake, the GPL requires that modified versions be marked as changed, so that their problems will not be attributed erroneously to authors of previous versions.

Some devices are designed to deny users access to install or run modified versions of the software inside them, although the manufacturer can do so. This is fundamentally incompatible with the aim of protecting users' freedom to change the software. The systematic pattern of such abuse occurs in the area of products for individuals to use, which is precisely where it is most unacceptable. Therefore, we have designed this version of the GPL to prohibit the practice for those products. If such problems arise substantially in other domains, we stand ready to extend this provision to those domains in future versions of the GPL, as needed to protect the freedom of users.

Finally, every program is threatened constantly by software patents. States should not allow patents to restrict development and use of software on general-purpose computers, but in those that do, we wish to avoid the special danger that patents applied to a free program could make it effectively proprietary. To prevent this, the GPL assures that patents cannot be used to render the program non-free.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS

0. Definitions.

“This License” refers to version 3 of the GNU General Public License.

“Copyright” also means copyright-like laws that apply to other kinds of works, such as semiconductor masks.

“The Program” refers to any copyrightable work licensed under this License. Each licensee is addressed as “you”. “Licensees” and “recipients” may be individuals or organizations.

To “modify” a work means to copy from or adapt all or part of the work in a fashion requiring copyright permission, other than the making of an exact copy. The resulting work is called a “modified version” of the earlier work or a work “based on” the earlier work.

A “covered work” means either the unmodified Program or a work based on the Program.

To “propagate” a work means to do anything with it that, without permission, would make you directly or secondarily liable for infringement under applicable copyright law, except executing it on a computer or modifying a private copy. Propagation includes copying, distribution (with or without modification), making available to the public, and in some countries other activities as well.

To “convey” a work means any kind of propagation that enables other parties to make or receive copies. Mere interaction with a user through a computer network, with no transfer of a copy, is not conveying.

An interactive user interface displays "Appropriate Legal Notices" to the extent that it includes a convenient and prominently visible feature that (1) displays an appropriate copyright notice, and (2) tells the user that there is no warranty for the work (except to the extent that warranties are provided), that licensees may convey the work under this License, and how to view a copy of this License. If the interface presents a list of user commands or options, such as a menu, a prominent item in the list meets this criterion.

1. Source Code.

The "source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. "Object code" means any non-source form of a work.

A "Standard Interface" means an interface that either is an official standard defined by a recognized standards body, or, in the case of interfaces specified for a particular programming language, one that is widely used among developers working in that language.

The "System Libraries" of an executable work include anything, other than the work as a whole, that (a) is included in the normal form of packaging a Major Component, but which is not part of that Major Component, and (b) serves only to enable use of the work with that Major Component, or to implement a Standard Interface for which an implementation is available to the public in source code form. A "Major Component", in this context, means a major essential component (kernel, window system, and so on) of the specific operating system (if any) on which the executable work runs, or a compiler used to produce the work, or an object code interpreter used to run it.

The "Corresponding Source" for a work in object code form means all the source code needed to generate, install, and (for an executable work) run the object code and to modify the work, including scripts to control those activities. However, it does not include the work's System Libraries, or general-purpose tools or generally available free programs which are used unmodified in performing those activities but which are not part of the work. For example, Corresponding Source includes interface definition files associated with source files for the work, and the source code for shared libraries and dynamically linked subprograms that the work is specifically designed to require, such as by intimate data communication or control flow between those subprograms and other parts of the work.

The Corresponding Source need not include anything that users can regenerate automatically from other parts of the Corresponding Source.

The Corresponding Source for a work in source code form is that same work.

2. Basic Permissions.

All rights granted under this License are granted for the term of copyright on the Program, and are irrevocable provided the stated conditions are met. This License explicitly affirms your unlimited permission to run the unmodified Program. The output from running a covered work is covered by this License only if the output, given its content, constitutes a covered work. This License acknowledges your rights of fair use or other equivalent, as provided by copyright law.

You may make, run and propagate covered works that you do not convey, without conditions so long as your license otherwise remains in force. You may convey covered works to others for the sole purpose of having them make modifications exclusively for you, or provide you with facilities for running those works, provided that you comply with the terms of this License in conveying all material for which you do not control copyright. Those thus making or running the covered works for you must do so exclusively on your behalf, under your direction and control, on terms that prohibit them from making any copies of your copyrighted material outside their relationship with you.

Conveying under any other circumstances is permitted solely under the conditions stated below. Sublicensing is not allowed; section 10 makes it unnecessary.

3. Protecting Users' Legal Rights From Anti-Circumvention Law.

No covered work shall be deemed part of an effective technological measure under any applicable law fulfilling obligations under article 11 of the WIPO copyright treaty adopted on 20 December 1996, or similar laws prohibiting or restricting circumvention of such measures.

When you convey a covered work, you waive any legal power to forbid circumvention of technological measures to the extent such circumvention is effected by exercising rights under this License with respect to the covered work, and you disclaim any intention to limit operation or modification of the work as a means of enforcing, against the work's users, your or third parties' legal rights to forbid circumvention of technological measures.

4. Conveying Verbatim Copies.

You may convey verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice; keep intact all notices stating that this License and any non-permissive terms added in accord with section 7 apply to the code; keep intact all notices of the absence of any warranty; and give all recipients a copy of this License along with the Program.

You may charge any price or no price for each copy that you convey, and you may offer support or warranty protection for a fee.

5. Conveying Modified Source Versions.

You may convey a work based on the Program, or the modifications to produce it from the Program, in the form of source code under the terms of section 4, provided that you also meet all of these conditions:

a) The work must carry prominent notices stating that you modified it, and giving a relevant date.

b) The work must carry prominent notices stating that it is released under this License and any conditions added under section 7. This requirement modifies the requirement in section 4 to “keep intact all notices”.

c) You must license the entire work, as a whole, under this License to anyone who comes into possession of a copy. This License will therefore apply, along with any applicable section 7 additional terms, to the whole of the work, and all its parts, regardless of how they are packaged. This License gives no permission to license the work in any other way, but it does not invalidate such permission if you have separately received it.

d) If the work has interactive user interfaces, each must display Appropriate Legal Notices; however, if the Program has interactive interfaces that do not display Appropriate Legal Notices, your work need not make them do so.

A compilation of a covered work with other separate and independent works, which are not by their nature extensions of the covered work, and which are not combined with it such as to form a larger program, in or on a volume of a storage or distribution medium, is called an “aggregate” if the compilation and its resulting copyright are not used to limit the access or legal rights of the compilation's users beyond what the individual works permit. Inclusion of a covered work in an aggregate does not cause this License to apply to the other parts of the aggregate.

6. Conveying Non-Source Forms.

You may convey a covered work in object code form under the terms of sections 4 and 5, provided that you also convey the machine-readable Corresponding Source under the terms of this License, in one of these ways:

a) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by the Corresponding Source fixed on a durable physical medium customarily used for software interchange.

b) Convey the object code in, or embodied in, a physical product (including a physical distribution medium), accompanied by a written offer, valid for at least three years and valid for as long as you offer spare parts or customer support for that product

model, to give anyone who possesses the object code either (1) a copy of the Corresponding Source for all the software in the product that is covered by this License, on a durable physical medium customarily used for software interchange, for a price no more than your reasonable cost of physically performing this conveying of source, or (2) access to copy the Corresponding Source from a network server at no charge.

c) Convey individual copies of the object code with a copy of the written offer to provide the corresponding Source. This alternative is allowed only occasionally and noncommercially, and only if you received the object code with such an offer, in accord with subsection 6b.

d) Convey the object code by offering access from a designated place (gratis or for a charge), and offer equivalent access to the Corresponding Source in the same way through the same place at no further charge. You need not require recipients to copy the Corresponding Source along with the object code. If the place to copy the object code is a network server, the Corresponding Source may be on a different server (operated by you or a third party) that supports equivalent copying facilities, provided you maintain clear directions next to the object code saying where to find the Corresponding Source. Regardless of what server hosts the Corresponding Source, you remain obligated to ensure that it is available for as long as needed to satisfy these requirements.

e) Convey the object code using peer-to-peer transmission, provided you inform other peers where the object code and Corresponding Source of the work are being offered to the general public at no charge under subsection 6d.

A separable portion of the object code, whose source code is excluded from the Corresponding Source as a System Library, need not be included in conveying the object code work.

A "User Product" is either (1) a "consumer product", which means any tangible personal property which is normally used for personal, family, or household purposes, or (2) anything designed or sold for incorporation into a dwelling. In determining whether a product is a consumer product, doubtful cases shall be resolved in favor of coverage. For a particular product received by a particular user, "normally used" refers to a typical or common use of that class of product, regardless of the status of the particular user or of the way in which the particular user actually uses, or expects or is expected to use, the product. A product is a consumer product regardless of whether the product has substantial commercial, industrial or non-consumer uses, unless such uses represent the only significant mode of use of the product.

"Installation Information" for a User Product means any methods, procedures, authorization keys, or other information required to install and execute modified versions of a covered work in that User Product from a modified version of its Corresponding Source. The information must suffice to ensure that the continued functioning of the modified object code is in no case prevented or interfered with solely because modification has been made.

If you convey an object code work under this section in, or with, or specifically for use in, a User Product, and the conveying occurs as part of a transaction in which the right of possession and use of the User Product is transferred to the recipient in perpetuity or for a fixed term (regardless of how the transaction is characterized), the Corresponding Source conveyed under this section must be accompanied by the Installation Information. But this requirement does not apply if neither you nor any third party retains the ability to install modified object code on the User Product (for example, the work has been installed in ROM).

The requirement to provide Installation Information does not include a requirement to continue to provide support service, warranty, or updates for a work that has been modified or installed by the recipient, or for the User

Product in which it has been modified or installed. Access to a network may be denied when the modification itself materially and adversely affects the operation of the network or violates the rules and protocols for communication across the network.

Corresponding Source conveyed, and Installation Information provided, in accord with this section must be in a format that is publicly documented (and with an implementation available to the public in source code form), and must require no special password or key for unpacking, reading or copying.

7. Additional Terms.

"Additional permissions" are terms that supplement the terms of this License by making exceptions from one or more of its conditions. Additional permissions that are applicable to the entire Program shall be treated as though they were included in this License, to the extent that they are valid under applicable law. If additional permissions apply only to part of the Program, that part may be used separately under those permissions, but the entire Program remains governed by this License without regard to the additional permissions.

When you convey a copy of a covered work, you may at your option remove any additional permissions from that copy, or from any part of it. (Additional permissions may be written to require their own removal in certain cases when you modify the work.) You may place additional permissions on material, added by you to a covered work, for which you have or can give appropriate copyright permission.

Notwithstanding any other provision of this License, for material you add to a covered work, you may (if authorized by the copyright holders of that material) supplement the terms of this License with terms:

a) Disclaiming warranty or limiting liability differently from the terms of sections 15 and 16 of this License; or

b) Requiring preservation of specified reasonable legal notices or author attributions in that material or in the Appropriate Legal Notices displayed by works containing it; or

c) Prohibiting misrepresentation of the origin of that material, or requiring that modified versions of such material be marked in reasonable ways as different from the original version; or

d) Limiting the use for publicity purposes of names of licensors or authors of the material; or

e) Declining to grant rights under trademark law for use of some trade names, trademarks, or service marks; or

f) Requiring indemnification of licensors and authors of that material by anyone who conveys the material (or modified versions of it) with contractual assumptions of liability to the recipient, for any liability that these contractual assumptions directly impose on those licensors and authors.

All other non-permissive additional terms are considered "further restrictions" within the meaning of section 10. If the Program as you received it, or any part of it, contains a notice stating that it is governed by this License along with a term that is a further restriction, you may remove that term. If a license document contains a further restriction but permits relicensing or conveying under this License, you may add to a covered work material governed by the terms of that license document, provided that the further restriction does not survive such relicensing or conveying.

If you add terms to a covered work in accord with this section, you must place, in the relevant source files, a statement of the additional terms that apply to those files, or a notice indicating where to find the applicable terms.

Additional terms, permissive or non-permissive, may be stated in the form of a separately written license, or stated as exceptions; the above requirements apply either way.

8. Termination.

You may not propagate or modify a covered work except as expressly provided under this

License. Any attempt otherwise to propagate or modify it is void, and will automatically terminate your rights under this License (including any patent licenses granted under the third paragraph of section 11).

However, if you cease all violation of this License, then your license from a particular copyright holder is reinstated (a) provisionally, unless and until the copyright holder explicitly and finally terminates your license, and (b) permanently, if the copyright holder fails to notify you of the violation by some reasonable means prior to 60 days after the cessation.

Moreover, your license from a particular copyright holder is reinstated permanently if the copyright holder notifies you of the violation by some reasonable means, this is the first time you have received notice of violation of this License (for any work) from that copyright holder, and you cure the violation prior to 30 days after your receipt of the notice.

Termination of your rights under this section does not terminate the licenses of parties who have received copies or rights from you under this License. If your rights have been terminated and not permanently reinstated, you do not qualify to receive new licenses for the same material under section 10.

9. Acceptance Not Required for Having Copies.

You are not required to accept this License in order to receive or run a copy of the Program. Ancillary propagation of a covered work occurring solely as a consequence of using peer-to-peer transmission to receive a copy likewise does not require acceptance. However, nothing other than this License grants you permission to propagate or modify any covered work. These actions infringe copyright if you do not accept this License. Therefore, by modifying or propagating a covered work, you indicate your acceptance of this License to do so.

10. Automatic Licensing of Downstream Recipients.

Each time you convey a covered work, the recipient automatically receives a license from the original licensors, to run, modify and propagate that work, subject to this License. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

An “entity transaction” is a transaction transferring control of an organization, or substantially all assets of one, or subdividing an organization, or merging organizations. If propagation of a covered work results from an entity transaction, each party to that transaction who receives a copy of the work also receives whatever licenses to the work the party's predecessor in interest had or could give under the previous paragraph, plus a right to possession of the Corresponding Source of the work from the predecessor in interest, if the predecessor has it or can get it with reasonable efforts.

You may not impose any further restrictions on the exercise of the rights granted or affirmed under this License. For example, you may not impose a license fee, royalty, or other charge for exercise of rights granted under this License, and you may not initiate litigation (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that any patent claim is infringed by making, using, selling, offering for sale, or importing the Program or any portion of it.

11. Patents.

A “contributor” is a copyright holder who authorizes use under this License of the Program or a work on which the Program is based. The work thus licensed is called the contributor's “contributor version”.

A contributor's “essential patent claims” are all patent claims owned or controlled by the contributor, whether already acquired or hereafter acquired, that would be infringed by some manner, permitted by this License, of making, using, or selling its contributor version, but do not include claims that would be infringed only as a consequence of further modification of the contributor version. For purposes of this definition, “control” includes the right to grant patent sublicenses in a manner consistent with the requirements of this License.

Each contributor grants you a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under the contributor's essential patent claims, to make, use, sell, offer for sale, import and otherwise run, modify and propagate the contents of its contributor version.

In the following three paragraphs, a "patent license" is any express agreement or commitment, however denominated, not to enforce a patent (such as an express permission to practice a patent or covenant not to sue for patent infringement). To "grant" such a patent license to a party means to make such an agreement or commitment not to enforce a patent against the party.

If you convey a covered work, knowingly relying on a patent license, and the Corresponding Source of the work is not available for anyone to copy, free of charge and under the terms of this License, through a publicly available network server or other readily accessible means, then you must either (1) cause the Corresponding Source to be so available, or (2) arrange to deprive yourself of the benefit of the patent license for this particular work, or (3) arrange, in a manner consistent with the requirements of this License, to extend the patent license to downstream recipients. "Knowingly relying" means you have actual knowledge that, but for the patent license, your conveying the covered work in a country, or your recipient's use of the covered work in a country, would infringe one or more identifiable patents in that country that you have reason to believe are valid.

If, pursuant to or in connection with a single transaction or arrangement, you convey, or propagate by procuring conveyance of, a covered work, and grant a patent license to some of the parties receiving the covered work authorizing them to use, propagate, modify or convey a specific copy of the covered work, then the patent license you grant is automatically extended to all recipients of the covered work and works based on it.

A patent license is "discriminatory" if it does not include within the scope of its coverage, prohibits the exercise of, or is conditioned on the non-exercise of one or more of the rights that are specifically granted under this License. You may not convey a covered work if you are a party to an arrangement with a third party that is in the business of distributing software, under which you make payment to the third party based on the extent of your activity of conveying the work, and under which the third party grants, to any of the parties who would receive the covered work from you, a discriminatory patent license

(a) in connection with copies of the covered work conveyed by you (or copies made from those copies), or

(b) primarily for and in connection with specific products or compilations that contain the covered work, unless you entered into that arrangement, or that patent license was granted, prior to 28 March 2007.

Nothing in this License shall be construed as excluding or limiting any implied license or other defenses to infringement that may otherwise be available to you under applicable patent law.

12. No Surrender of Others' Freedom.

If conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot convey a covered work so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not convey it at all. For example, if you agree to terms that obligate you to collect a royalty for further conveying from those to whom you convey the Program, the only way you could satisfy both those terms and this License would be to refrain entirely from conveying the Program.

13. Use with the GNU Affero General Public License.

Notwithstanding any other provision of this License, you have permission to link or combine any covered work with a work licensed under version 3 of the GNU Affero General Public License into a single combined

work, and to convey the resulting work. The terms of this License will continue to apply to the part which is the covered work, but the special requirements of the GNU Affero General Public License, section 13, concerning interaction through a network will apply to the combination as such.

14. Revised Versions of this License.

The Free Software Foundation may publish revised and/ or new versions of the GNU General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies that a certain numbered version of the GNU General Public License “or any later version” applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that numbered version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of the GNU General Public License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

If the Program specifies that a proxy can decide which future versions of the GNU General Public License can be used, that proxy's public statement of acceptance of a version permanently authorizes you to choose that version for the Program.

Later license versions may give you additional or different permissions. However, no additional obligations are imposed on any author or copyright holder as a result of your choosing to follow a later version.

15. Disclaimer of Warranty.

THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. Limitation of Liability.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MODIFIES AND/OR CONVEYS THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

17. Interpretation of Sections 15 and 16.

If the disclaimer of warranty and limitation of liability provided above cannot be given local legal effect according to their terms, reviewing courts shall apply local law that most closely approximates an absolute waiver of all civil liability in connection with the Program, unless a warranty or assumption of liability accompanies a copy of the Program in return for a fee.

END OF TERMS AND CONDITIONS

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301

USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages-typically libraries-of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General

Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/ Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/ or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program

is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library. b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change. c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License. d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.) These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy,

it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided t hat you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a “work that uses the Library”. Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a “work that uses the Library” with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a “work that uses the library”. The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a “work that uses the Library” uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a “work that uses the Library” with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer’s own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections

1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine readable " work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that

(1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed

it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any

later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found. one line to give the library’s name and an idea of what it does.

Copyright (C) year name of author

This library is free software; you can redistribute it and/ or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY

WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990 Ty Coon, President of Vice.

OpenSSL LICENSE

Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson(tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@ cryptsoft. com) All rights reserved. This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft. com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL. This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@ cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@ cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence].



Samsung Techwinでは環境保護のため、製品製造の全工程で環境に配慮しており、より環境に優しい製品をお客様にお届けするため数多くの措置を講じています。
エコマークは、環境に優しい製品を創り出すSamsung Techwinの意志を表すとともに、それらの製品が欧州RoHS指令に準拠していることを示しています。



販売ネットワーク

SAMSUNG TECHWIN CO., LTD.
Samsungtechwin R&D Center, 701, Sampyeong-dong, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, Korea, 463-400
TEL : +82-70-7147-8740~60 FAX : +82-31-8018-3745

SAMSUNG TECHWIN AMERICA Inc.
100 Challenger Rd. Suite 700 Ridgefield Park, NJ 07660
Toll Free : +1-877-213-1222 Direct : +1-201-325-6920
Fax : +1-201-373-0124
www.samsungcctvusa.com

SAMSUNG TECHWIN EUROPE LTD.
Samsung House, 1000 Hillswood Drive, Hillswood Business Park Chertsey, Surrey, UNITED KINGDOM KT16 OPS
TEL : +44-1932-45-5300 FAX : +44-1932-45-5325

www.samsungtechwin.com
www.samsungsecurity.com
www.samsungipolis.com